

大阪消防

OSAKA SHOBO

平成29年

2

月号

No.803



大阪都心の2大オアシス!

梅田の大東洋
メンズサウナ&カプセルホテル
レディスサウナ

LOVLY 熱波!
ロウリュウ
体感100℃!
灼熱のエンターテイメント!!

本格派サウナ浴場
本格派リラクゼーションMENU

天然温泉
萬の湯

なんば千日前のアムザ
メンズサウナ&カプセルホテル

コンセント、Wifi、各種自慢のサービス

団体割引適用で割安!
~消防人生をずっと補償~
いざという時のために!
一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

1 **30%**
消防職員医療保険
医療保険基本特約付・疾病保険特約
・傷害保険特約セット 団体総合保険
募集時期 ■ 7~8月 2~3月 2~4月 (新採用プラン)

2 **30%**
消防職員傷害保険
総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険
募集時期 ■ 12~2月 7~8月

3 **3,200円**
消防職員賠償責任保険
救命救急士の
専門業務も補償!
公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料
支払に関する特約条項)
募集時期 ■ 12~2月 7~8月

4 **20%**
消防職員がん保険
団体総合生活保険 (がん補償)
募集時期 ■ 12~3月

5 **約40%**
消防退職者医療保険
団体総合生活保険 (医療補償)
募集時期 ■ 12~3月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店
〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社
〔損害保険ジャパン日本興亜株式会社〕は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

SJNK15-15088 (2015.01.21)
15-T11232 (2016年2月作成)



多田 龍弘

生野区地域振興会会長
生野防火協力会副会長
(株)ダイヤ取締役会長

地域の安全・安心に向けて

まず、わが町のことについて簡単に紹介したいと思います。

生野区は、空襲を逃れた戦前からの街並みが多く残っており、住、工、商の混在した、道路も狭隘な地域が多いのが町の特徴となっています。区内には聖徳太子の伝説が残る「舍利尊勝寺」、文献上日本最古の橋とされている「つるのはし跡」などの由緒ある史跡や大阪環状線や近鉄沿線の商業施設が町のにぎわいを作り、また、製造業を中心にいわゆるものづくりを行う企業の町としてこれまで発展してきました。

私は、父親が他界した平成4年に家業を継ぎ、併せて防火協力会にも関わらせていただくことになり、また、地域に貢献したいとの思いから地域振興会にも参画し現在に至っています。

平成7年の阪神・淡路大震災を契機に地域の防災力を高めることを目的に全市的に地域防災リーダーが創設されましたが、当時生野区でも19連合町会で304人の地域防災リーダーが誕生しました。私も町会の活動の中で防災に関する研修を受ける必要性を感じていましたので、早速地元の地域防災リーダーとして地域防災の一端を担うようになりました。この研修によって、可搬式ポンプの操作や応急手当など実践力を高めることができ有意義であったと感じています。

昨年からは、区の地域振興会の会長も仰せつかりましたが、大きな災害があった場合に地域防災リーダーが行う緊急的な対応に加えて、災害からの復旧や復興といったことも意識しておく必要性を実感しています。

熊本地震の際に、現地に派遣されて避難所の運営に携わった方から直接話を聞く機会を設けましたが、そういったことも知識として持って頂くよう努めていきたいと考えています。また、訓練に際しては、より多くの方が参加できるよう腐心していますが、先日もPTAの父兄会、土曜授業に併せて地域の防災訓練を開催するなど工夫を凝らして実施しています。

今年も平穩に過ごせることを念じておりますが、南海トラフを震源域とする巨大地震や糸魚川市であったような密集市街地での大火など大阪市においてもいろんな形態の災害に備えていかねばなりません。これからも地域の安心安全の実現に向け努力してまいります。



平成29年大阪市消防出初式

1月6日



平成29年大阪市消防出初式

1月6日



平成29年大阪市消防出初式

1月6日



表紙：少彦名神社／編集部

01	このは	地域の安全・安心に向けて	多田龍弘
02	グラビア	平成29年大阪市消防出初式	編集部
03	グラビア	平成29年大阪市消防出初式	編集部
04	グラビア	平成29年大阪市消防出初式	編集部
05	コンテンツ		編集部
06	特集	平成29年 消防局長年頭訓示	編集部
08	いらしやい、大阪消防です!	片山 晃さんを訪ねて	編集部
11	ニュースカプセル	世界駆け巡る言論弾圧	藤井英一 イラスト・山田いつか
12	みんなで備えるコミュニティ防災(17)	災害時の交通問題	日野泰雄
13	レスキューナースからのメッセージ(11)	防災センターに行ってみよう!	辻直美
14	「昭和」24面相	1957年スタルヒン死す	信濃文
16	コマンドアイ	見えない敵	北方面隊
18	調査鑑識	平成28年度 大阪市火災調査事例発表会(その3)	調査鑑識
20	救急安心センターおおさかだより		救急課
20	災害概況		警防課
21	キセイカナビ	屋内消火栓設備について～昇任試験対策編～	規制課
22	環状線		各所課
29	環状線(番外編)	Chain of Survival 救命の連鎖(時間との戦い)	救急課
30	大阪の消防NEWS	泉大津市・茨木市・大阪狭山市・守口市門真市消防組合各消防本部	
32	職務①	「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」完了報告書	救急課
34	職務②	「大阪府下消防長会警防救急委員会 第1回大阪府下消防活動事例発表会」開催結果	北方面隊
36	職務③	予防部めぐり 生涯学習～平成28年度大阪市出前講座～	予防課
38	職務④	大阪市火災予防条例の解説(48)	規制課
40	職務⑤	平成28年度消防職員体力練成研修会	大阪府下消防長会
42	自衛消防隊紹介		住之江区
42	女性防火クラブだより		阿倍野区
43	大阪市消防局災害活動支援隊		総務課・警防課
44	おもしろ体力測定(No.1)	柔軟性テスト(足首・腰)	高度専門教育訓練センター
45	健康ダイアリー	家庭血圧をはかりましょう!	人事課
46	親睦会だより	平成28年度全国消防職員親善バレーボール大会	大阪市消防職員親睦会
47	大阪市防火管理協会からのお知らせ		編集部
48	大阪めぐり(表紙絵)・編集室		編集部



特集

平成29年

消防局長年頭訓示

消防局長 藤井茂樹

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成29年の輝かしい新春を迎え、
職員の皆様方に謹んでお慶び申し上
げます。また、日頃から職員の皆さ
んを常に支えていただいております
ご家族の皆様方にも、この場をお借
りして心からお礼を申し上げますと
思います。

さて、昨年の火災件数は849件
で、66年ぶりに1,000件を下
回った前年と比べても21件減少して
おります。全国的に見ても火災件数
は減少傾向にあります。その一方
で、先般、新潟県糸魚川市の密集市
街地において、焼損面積が約4万平
方メートルに及ぶ大規模火災が発生
しました。このような火災に対して
は、いかに早く燃焼実態に放水する
かが非常に重要であり、密集市街地
を多く抱える本市においては、小型
タンク車を火点の直近に部署させ、
タンク水により迅速に消火活動を開

始する「即時消火」戦術を平成13年
から取り入れていただくと、今
後も、本市で発生した火災を大規模
なものに発展させないためにも、職
員の皆さんは、気を緩めることな
く、引き続き、警防体制に磨きをか
けていただくよう、お願いします。
次に自然災害に目を向けますと、
4月に発生した熊本地震、8月の相
次ぐ台風の上陸による度重なる河川
の氾濫、そして10月の鳥取県中部を
震源とする地震などが各地で甚大な
人的被害・物的被害をもたらした一
年でありました。

本市におきましても、南海トラフ
巨大地震の発生が懸念されており、
消防に寄せられる市民の期待は、ま
すます大きなものとなっております
が、「いかなる災害からも市民を守
る」という消防の使命は不変のもの
であり、これまでどおり、市民が安
心して暮らせる災害に強く安全なま
ちづくりを進めて参ります。

ここで、先ほど、吉村市長の年頭
訓示を受けてまいりましたので、そ
の内容を要約してお伝えします。

市長からは、年末年始にかけて多
くの職員がリフレッシュする中、年
末年始にかかわらず職責を全うして
いただいた職員に対しての慰労と、
現場で働く職員への激励並びにお礼
の言葉の後、就任からの一年間、
「市民サービス」の拡充」と「大阪の
改革と成長」という方向性を基本と
した市政運営を行い、大学の統合な
ど、大阪の改革を前進させることが
できました。これも、職員の皆さん
が日々地道に実務を進めてくれたお
かげであり、感謝しております。

本年も昨年と同様にこれまでの政
策や市政改革での取組をさらに発展
させ、着実に市政を前へ進めていき
ますので、よろしく願います。

具体的には
・ 学校教育の充実
・ 幼児教育環境の充実や待機児童の
解消
・ 高齢者支援など住民福祉の更なる
向上

・ 府市が一体となった成長戦略
・ 総合区や特別区といった新たな仕
組みの構築
・ 防災対策の推進

これらの取組を進めていきたいと
考えています。
本市の課題は多岐にわたっていま
す。職員の皆さんは、こうした様々

な課題の解決に向けてしっかりと取り組んでもらいたいと考えています。その際には、所属間での連携を常に心がけてもらいたいと思いません。また、すべての社会問題を行政だけで解決することは困難ですし、非効率でもあるため、他所属との連携、民間との連携を積極的に進めながら、創意工夫をして、課題解決に向けて取り組んで下さい。

私自身も大阪の改革を一步でも二歩でも前に進め、市民サービスの拡充を図るため、本年も邁進していきたいと考えています。

また、全体の奉仕者であることを忘れず、不祥事の根絶に取り組んでほしいと思います。

以上の内容の訓示がありました。

このような全市的方針を踏まえ、我々消防局の使命を果たすため、本年の消防局重点目標として5つの項目を挙げさせていただきます。

● 1つ目は、

「住宅火災の発生件数の低減及び被害の軽減」です。

火災件数は減少傾向にあります。が、まだまだ、市民が毎日の生活を営む「住宅」での火災が多いことから、その発生件数の低減を図り、被害を最小限に抑えるべく、引き続き

き、住宅用火災警報器の設置促進と維持管理を主眼とした防火指導、「放火されない環境づくり」を推進するとともに、消火活動能力のさらなる向上を図ります。

● 2つ目は、

「事業所の防火・防災管理の徹底」です。

市民が安心して利用できる施設を増やすため、重大な消防法令違反に対する徹底した是正指導に取り組みるとともに、消防訓練の定期的な実施の定着を図ります。

● 3つ目は、

「救命の連鎖の強化による救命率の向上」です。

高齢化の進展等により市民の救急需要が増加傾向にある中、予防救急や救急安心センター事業の推進を図るとともに、応急手当の普及啓発、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制の強化を図り、救命の連鎖を強化することで、救命率の向上を図ります。

● 4つ目は、

「防火・防災に関する知識・技術の普及」です。

火災や事故等の災害、また、発生

が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対し、その被害の軽減を図るため、市民の災害対応力の強化に向けて、中学生を対象とした防火・防災研修や地域防災リーダーに対する実技研修等の充実強化を図ります。

● 5つ目は、

「服務規律の確保と風通しの良い職場づくりの推進」です。

職員一人ひとりが消防職員としての自覚と責任を再認識し、公私を問わない高い倫理感の涵養に努めるとともに、常に職務に対するやりがいと誇りを持ち、職員相互の尊重と協調の基、自律的に業務に邁進できる職場づくりを推進することで、職員の不祥事根絶を図ります。

以上、5つの項目を重点目標として、市民の信頼・期待に応え得るべく、本年も全職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願ひします。

最後に、この一年が災害のない平穏な年となりますよう心から祈念いたします。年始にあたっての訓示とします。

今年も力を合わせて頑張りましょう。

以上

佐野 和久さんからの紹介 『 片山 晃さんを訪ねて 』



● 彫工
かた やま あきら
片山 晃

プロフィール
昭和 44 年 7 月 14 日 岸和田市生まれ
昭和 63 年 3 月 1 日 高校卒業即、岸田恭司師に弟子入り
平成 17 年 10 月 1 日 独立、木彫片山

木彫との出会い

日本の曳山文化の代表格の岸和田市に生まれ、旧市五軒屋町で地車(だんじり)を曳行して育ち、大工方を10年担当しました。幼い頃から父親が銘木(樺)店を生業としていた事もあり、父親の仕事の関係から、植山工務店の先代の社長さんや筒井嶺燐(和男)師の工匠とは父親にくっついて歩いたので付き合いがありました。

そんな関係から、物心ついた頃から多くの名工や名匠達に可愛がって貰いましたので、地車の木彫には親しんでいましたから、絵を描いたりするよりも、木や粘土で立体的な物を作る事が好きでした。本格的に彫刻師を目指したのは高校2年の終わり頃で、子供の頃から愛がって貰った筒井嶺燐師から「中学校を出たら彫刻師になれよ」と声を掛けて頂いた時には、もう一歩踏み込めませんでした。が、彫刻師にな

る夢は薄れる事はなく、はつきりと彫刻師を志した時には最も懇意にして下さった筒井嶺燐師が他界されてしまったので、筒井門下の代表者の一人だった岸田恭司師(木彫岸田)の一番弟子として師事する事になりました。

入門して……

師匠の岸田師とは、月に一度開催されていた植山工務店と筒井工房主宰のボウリング大会で何度か顔を合わせておりましたので、高校3年の春に入門をお願いしまして、夏休みには何度も工房を訪ねて手伝いをさせて貰っていました。

昭和63年3月に高校を卒業し、晴れて木彫岸田へ入門しました。無論始めから彫れるはずもなく、初日は刀や槍をひたすら刻んでいたのを覚えています。簡単な彫り物

でも作品ですから緊張して修行していました。平成10年に完成した自町の旧市五軒屋町で地車の彫物責任者が師匠の岸田親方だったので、私も自町の地車の彫物に携わる事が出来ました。

師匠にはよく怒られました。が、親方は声を荒げて怒った事は一度もなかったと思います。「そうじゃないんやけどなあ……」と呟くような感じでした。

もし、「私はこう思ってた削りました」とでも言うものなら、即座に「言い訳すな」と一蹴されましたが、怒られた後に親方の手が入った彫刻を見ると、その凄さをまざまざと見せつけられ、もともとと努力しなければと考えさせられました。褒められた事は、正直、今まで記憶はありません。だから、師匠に認められたいと思って修行し

ていました。

師匠の下で数々の彫り物を手掛け、特に顔にこだわり、表情豊かな仕上げをするという評価を頂きました。

工房を構えて

親方から数々の技術を学んで、平成17年10月に独立する事が出来ました。

独立してからは、泉大津市板原町、堺市津久野西組、岸和田旧市南上町、同市北町、岸和田旧市下野町、和泉市寺門町※(土呂幕)、岸和田旧市大北町、貝塚市堀、熊取町小谷と、それぞれ部分を担当させて頂きましたが、平成27年、



今年5月3日に入魂される貝塚市名越の地車の、自身初の責任者となりました。

平成24年5月に、今の仕事場に移って来て、平成18年に弟子入りした阿児智也さん(27才・10年目)と、平成24年に来てくれた木下敦友さん(24

才、6年目)の二人の弟子と気持ちも新たに、朝8時から夕方6時まで、日夜彫刻と対峙し完成を目指して精進しています。高校を卒業して弟子入りして今年で30年目の節目の年に、木彫の全てを任されて二年半手掛けて来た地車が5月3日に入魂されます。これからの仕上げの時で、想い出の年になります。

仕上げに向けて

今までは、部分を手助けさせて貰っていましたが、今手掛けている作品は、初めて地車の全てを任せて貰った仕事ですから、私の看板地車になります。全ての彫刻について発注先の皆さんの注文を聞かせて貰って、場面を考えて下絵を書きましたが、原寸で正面、側面、上面と立体的な構図に強度の事も考慮して配置を

考えます。

「八岐大蛇と須佐之男命」の作品は、五枚組なので、前板にしても須佐之男命の位置と大蛇の頭の数、奥一枚目から奥四



枚目までの見せ方、構図が決まれば荒彫り（叩き）に一月、仕上げの削り、刻み（大蛇の鱗、服の模様や鎧兜等）、色付け、持ち物（髭や刀）に一月月位は掛ります。奥へ行くほど期間は短くなりますが、彫り終わると最初の板の1/3位になりますから、強度の関係を考えなければ地車の飾りにはなりません。

色付けも工房独自のもので、派手目であったり、薄目に仕上げたり、作品によっても変わります。

左右と正面の三か所の土呂幕（どろまく）がメインで、見送り（舞台作り）も板物と違ってより繊細な仕上げが出来る主役でもあります。地車の彫り物は大屋根廻り、前腰廻り、小屋根廻り、見送り廻りの四つに大きく分けられますが、地車全体では64ものパーツに彫り物が施されて、一台の

地車になります。

大工さんから届けられる部材に何処まで彫り物を施しているかを確かめながら、ギリギリの所まで彫り物をします。

注文を戴いてから二年半位掛けて仕上げる作品が、正解か、不正解か答えは出来栄次第です。地車は寿命が百年と言われていきますから、長く作品は残りますので遣り甲斐があります。

並んでいる鑿について

種類は荒彫り用と仕上げ用とがあり、其々に平



鑿、丸鑿（しゃくり・内丸・裏丸・外丸）、三角鑿があり、幅が5厘から1寸、仕上げは2厘からあり、丸鑿には幅とアールの違いがあり、三角鑿では角

度の違う物等、また仕上げの細かい刻みに使う物は沢山あります。

これが必需品で、研ぎが大事ですし生命ですから自分で研ぎます。同じ鑿でも、表を彫る物と奥を彫る物は柄の長さや角度を付けた物と、言えば切りがありません。常に、200本位ある鑿を使い分けています。

最後に火災や急病等で……

幸いにして、今までに火災にあった事も、救急車のお世話になった事はありません。父も銘木店をしておりましたし、私も弟子入りして30年、木材を扱っておりますし、大事な作品ですから火事があれば折角の作品が台無しになりますから、作業場は勿論禁煙ですし倉庫等を含めて火の用心には気を付けています。

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第34回

世界駆け巡る言論弾圧

◎コラムニスト 藤井 英一

中国、トルコの例……

中国で2016年3月、習近平・国家主席の辞任を求める書簡がネット掲載された問題で、香港在住の中国人評論家が拘束されたと、海外特派員が伝えた。同じ月、トルコ政府に批判的な大手新聞社を政府管理にする決定を裁判所がして、抗議のデモが渦巻いた。

どんな理由が語られようが、国による言論弾圧は許されない。このような上からの押さえ込み、当面は声を外に漏らすことを封じたにしても、いずれ明らかになる。ネットで世界がつながる現代。隠したい「政権に不都合な真実」は、あつという間に世界を駆け巡る。

スーチャー改革への期待

言論弾圧と言えば、永年軍独裁政治を強いていたミャンマー（ビルマ）。15年11月の総選挙で、アウンサンスーチーさん率いる国民民主連盟（NLD）が圧勝。16年3月、腹心のテインチョーさんが大統領に選出された。自らも閣僚として加わり、自由にものが言える国へ大きな一歩を踏み出したことに、世界が拍手した。スーチーさんと言えば、ノーベル平和賞を受賞。また、幽閉されていたにもかかわらず、日本の毎日新聞に自筆の連載「ビルマからの手紙」を掲載。日本はもとより、西側諸国からの強い支持を得たことで知られる。銃剣の前で、決してひるまなかった人である。

「民主主義の復元力」

一方、大統領が盗聴事件のもみ消しをした「ウォータージェット事件」が、言論の国アメリカでワシントンポスト紙により摘発された。1974年、共和党のニクソン大統領は工作を告白、テレビで辞任を表明した。

新聞記者の活躍がなければ闇に葬られた最高権力者の事件ではあるが、米国の持つ「民主主義の復元力」が一方で評価された記憶がある。



イラスト：山田いつか

災害時の交通問題



日野 泰雄

大阪市立大学
特命副学長
工学研究科教授

災害は繰り返されるものと心得る

十一月二十二日の早朝、福島沖を震源とする大きな地震が発生しました。四年八ヶ月も経つてなお、東日本大震災の余震が発生したのです。大きな被害は無かったものの、津波警報が出されました。多くの人にとっては、大震災の経験が活かされたようですが、逆流する川の横を歩く人や自動車による避難で渋滞も発生し、一抹の不安も感じられました。

また、十月二十一日午後には、大阪でも緊急地震速報が一齐に鳴り出し、ビル内では長い揺れを感じました。鳥取中部での地震で、木造の建物を中心に被害が広がりました。

もう少し遡ると、四月十四日と十六日には、熊本が何と二度の本震に襲われ、大きな被害に見舞われました。そうです。この原稿を依頼されたときには、冒頭の記述は考えもしていませんでした。私たちは、自然災害と同居

していることを実感せざるを得ません。

発災後には交通事故も増える

東日本大震災以降、東海・東南海大地震による巨大津波の被害に対する懸念が大きく取り上げられています。直下型地震の不安も残っています。平成七年一月十七日早朝に発生した阪神・淡路大震災です。特に、阪神高速道路神戸線の横転をはじめとして交通の大動脈が寸断され、避難や救急はもろろん、復旧・復興にも甚大な影響ができました。

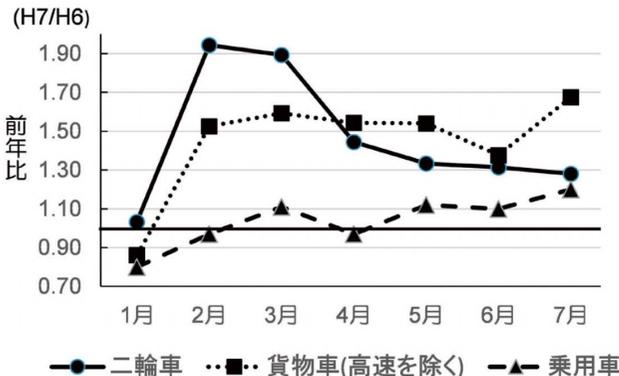
そのとき、人々はどうのように行動したのでしょうか。当時の私の拙文には「翌朝、避難勧告の解除を待つて家に戻る。途中、国道の神戸方面行きは信号現示にかかわらず殆ど動く心配さえないほどの渋滞となっていた。普段では考えられない状況である」とあるように、システムの障害が無くとも、勝手ルールが問題になります。また、発災三日間で自動車利用を控えた人は三割にとどまり、自動車の利用そのものにも問題があります。

震災後、交通事故が増えました(図参照)。三ヶ月程度は機動力の高い二輪車事故が増え、その後貨物車事故が増えました。東日本では自転車有効な移動手段として評価されましたが、直下型地震の道路損傷の中では危

険が大きいことを理解しないとけません。

交通管理計画と遵守精神が二次災害を防ぐ

阪神淡路大震災では、災害対策基本法による規制が実施されましたが、十分に機能したとは言えません。その後、国土交通省を中心に各地で広域緊急交通路が指定されました。しかし、それを効果的に機能させるためには、関係機関による現場の様々な課題を考慮した交通管理計画の立案とその実施が必要です。そして、何よりも、私たちの災害に対する心構え、互助・共助と法の遵守精神がその大前提であることを忘れてはいけません。



震災後の交通事故の推移

阪神・淡路大震災後の交通事故実態からみた交通運用の課題(土木学会): 日野ほか(1997)



防災センターに行ってみよう！

もうすぐ阪神・淡路大震災から22年目を迎える。あなたはその時の感覚、覚えていますか？

先日、大阪市阿倍野区にある防災センターに、吹田市で募集した小学生たち20人を連れて防災体験をしに行った。

(看護deゴー！という防災と看護を学ぶイベントを主催しています)



全国でいろんな防災体験ができるセンターがある。それぞれに個性的だ。阿倍野区にある防災センターは阪神・淡路大震災の揺れ、今後起こるであろうと予想されている南海トラフ地震の揺れをリアルに忠実に

再現して体験できるところが素晴らしい。

直下型地震と、プレートがずれてから起こる地震とでは揺れも、その感覚も、長さも違う。阪神・淡路大震災の揺れはあまりにもリアルで、22年前のあの時に感じた思いも吹き出てきて涙が出た。あの日、夜勤を終えて疲れきって自分の部屋で寝ていて、いきなり下から突き上げられるような衝撃を感じた。揺れはたったの20秒、しかし家がぐにゃぐにゃと曲がって見えて、今までにない恐怖と不安を感じた。

頭と足元にあったタンスが倒れてきた。右からはブラウン管の重い重いテレビが飛んできた。そして家は倒壊した。二階で寝ていた私たちは命が助かった。しかし一瞬にして

全てを失った。

毎日の生活の中で封印していた気持ちや忘れかけていた思いまで、防災センターは思い出させてくれた。トラウマという言葉で片付けてはいけないと私は思っている。もうすでに阪神・淡路大震災を知らない人たちがたくさんいる。あの時の体験や思いを、私たちは伝えていかなくてはならない。

語り継ぐためには、あの時の事を忘れてはいけないのだ。そのためには実際にいろいろ体験してみることも1つではないかと思う。体験した私たち世代、地震を知らない世代、そして子供たち。みんなが一緒に体験できるのが防災センターだと思う。

地震以外にも煙や消火活動、場所によっては暴風体験などもできる。他にも水の怖さを知ることも出来たり、映像や音などで地下街に水が入ったら？という体験ができる場所もある。

こんなすばらしいことができる防災センターなのだが、世間的には全く認知されていない。私は防災講座の中で「ぜひ全国の防災センター巡りを家族でしてください」とお伝えしている。

消防の方々も、もっともっと独自の良さをアピールして行って欲しいと思う。



山高きがゆえ、谷深し。今回の主人公であるヴィクトル・スタルヒン投手の野球人生がまさしくそうだ。ロシア生まれだが、革命に追われ、一家で異国の旭川にたどり着いたのが9歳。長身から投げ下ろす速球で野球に熱中。戦前は巨人で大活躍するが、戦況悪化し敵性外国人のレッテルを貼られ無念の追放。戦後GHQ通訳を経てプロ野球に復帰、300勝を達成。しかし、引退翌年の1957年1月12日夜、運転するシボレーが東京の東急玉川線電車に追突して死亡した。不世出の投手の栄光と悲劇を描いた西木正明さんの小説「凍(しばれ)る瞳」が、1988年の直木賞に選ばれている。

「昭和」24面相

ジャーナリスト
信濃文

42勝を挙げるなど、身長191^{センチ}、体重91^{キログラム}の大柄な体から投げ込まれる剛速球を武器に、巨人の勝利に貢献した。また、全日本チームの一員として、大リーグへのベーブ・ルースらと対戦している。

ロシアからの亡命

スタルヒンは1916年5月、ロシアのニージンタギール生まれ。やがてボリシェビキ革命により、一家は亡命者として旭川にその身を寄せた。

そんなスタルヒン少年の支えは、野球。アマチュア野球全盛期。やがて旧制旭川中のエースとしてその名をとどろかせ、ノーヒットノーランを達成。誕生直後の巨人に入団。1937年のイーグルス戦でノーヒットノーラン達成。1939年には球界初の

プロ野球黎明期の大投手

沢村栄治、野口二郎、藤本英雄の各氏と並び、プロ野球黎明期の大投手と称された。大活躍という栄光が安住の地をもたらしたかに見えたが、太平洋戦争がその座を奪った。

1944年まで巨人に在籍したが戦況悪化に伴い、スタルヒン投手は「敵性外国人」の烙印を押され、追放された。軽井沢に強制移住させられ、公安の監視付きの生活を送らされた。

そして1945年8月、敗戦。

突然のプロ野球復帰

スタルヒン投手は再生したプロ野球から距離を置き、GHQの通訳として戦後の生活をスタートさせた。母国の革命による流浪の生活、苦労の上につかんだ安住の座を奪った太平洋戦争。人間には心がある。戦いが終わったからといって、何事もなかったかのようにマウンドに戻るほど、単純なものでもない。

そのスタルヒン投手が1946年、GHQを辞め、プロ野球のパシフィック球団入りし、ファンを驚かせた。藤本定義監督の球団。巨人時代の監督で公私で支えてもらった恩人。その後、トンボ・ユニオンズへと移籍した。しかし、なぜ突然に復帰したのか、謎は残ったままである。

日本初の300勝

右手をぐるぐる回したうえ、長身から速球を投げ込む姿は戦前と同じ。所属チームは巨人のような常勝軍団ではないが、1949年には27勝を挙げ最多勝投手に。そして1955年には日本初の300勝投

1957年

スタルヒン死す

【第22回】

巨人↓追放↓GHQ通訳↓プロ復帰

「凍る瞳」 スタルヒン投手、事故死

手の栄光をつかんだ。
しかし、スタルヒン投手が再び巨人のユニフォームを着ることはなく、1956年に引退した。

引退翌年の事故死

引退翌年の1957年1月12日午後10時半過ぎ、自らシボレーを運転中、東京の東急玉川線の電車に追突、病院に運ばれたが死亡が確認された。日本に来て31年、40歳だった。青山で友人のボーリング会場開場パーティーに参加した後、旧制旭川中の同窓会に向かう途中だったと伝

えられている。

スタルヒン球場と銅像

スタルヒン投手の名が久しぶりに新聞掲載されたのは、1983年の秋のことである。旭川市営球場を改修したのを機に、同市ゆかりの大投手の名を冠してスタルヒン球場に改称されることになったと、報じた。

さらにそれまで市総合体育館前にあったスタルヒンの銅像が、スタルヒン球場正門近くに移設された。

この銅像は大柄だったスタルヒン投手のほぼ等身大。台座にはめ込ま



300勝をあげたスタルヒン投手と、抱きつくトンプ・ユニオンスの浜崎監督
毎日新聞社刊「昭和史全記録」より



東京都世田谷区の玉電三宿駅前の事故現場。左側の電車にスタルヒンさんの自動車(右)が追突、亡くなった＝毎日新聞社刊「昭和史記録」より

れた黒御影石には「スタルヒンよ永遠に」との言葉が彫つてある。国道から約50m入った球場敷地内に建っている。命日には花が供えられるという。

悲しみを笑顔で隠し

スタルヒン投手の一生は、安住の地を求め、異邦人の悲しみを笑顔で隠し、剛速球のように駆け抜けたと言えよう。

その死から26年後のスタルヒン球場誕生、同じく31年後の「スタルヒン小説」の直木賞受賞に、胸のつかえが少し取れる気もする。

今回のテーマ

見えない敵



北方面隊

◆はじめに

今回は放射線災害を想定した訓練について紹介します。放射線は見えない、臭わない、症状がすぐにでない、存知を確認するためには測定器が必要と、発災すれば活動は非常に困難を極めます。放射性同位元素（以下「R1」という）や放射線発生装置は医療分野、工業分野等様々な分野で幅広く利用されており、これらを使用する施設は大阪市内においても平成28年現在で202事業所が確認されています。また、平成28年7月に京都市内で発生した京都大学付属病院でのR1施設火災も記憶に新しいところです。当局においても、平成26年度から放射線災害についての訓練を重ねています。



放射線事故の可能性

施設内での漏えい事故、輸送中の事故、テロ等による人災の可能性として考えられます。想定について専門家の意見も交え検討したところ、「大阪で実災害として考えられるもの」として最も可能性が高いのは「輸送中の事故」とのことでした。関係機関に調査をかけたところ、(※)R1輸送について低線量線源は、L型、A型として、また高線量線源についてもB型輸送物運搬車両に積載され大阪市内を走行していることが判明しました。また、低線量線源については一般の車両で輸送しており、大阪市内の通報状況を鑑みると通報の第一報は市民からの通報である可能性が高い。これらの事実関係から、平成28年度の訓練は「R1運搬中の車両事故」とし、交通事故の限定出場から増強隊で対応する訓練としました。

訓練内容

走行途上訓練本部から、R1運搬車両の事故である旨の情報と本部判断の特命出場隊（救助隊、除染班、救急隊、支援隊）の情報が一斉に流れ、中隊長から各隊に防護装備の徹底が指示されました。全隊D装備で出場していますので、窓を閉めるよう指示があり、救助隊については一時停車後、測定器の電源を入れ空間線量率のモニターリングをしながら現場に向かいました。現場到着と同時に先着の特別救助隊による情報収集と消火隊による警戒区域（半径15m）の設定が行われました。指揮本

※放射性物質を事業所外で輸送する場合の区分。L型は日本独自の区分で、放射性物質の収納量を極少量に抑えて、その危険性を極めて小さく抑えたもの。放射線強度としては、L型HA型HB型となる。



部より再度呼吸管理の徹底が指示され、警戒区域進入隊については空気呼吸器による呼吸管理が徹底されました。

被災車両付近のエリア管理と前進指揮にあたった特別救助隊員からの情報により要救助者は2名と判明、要救助者の救出優先順位を判断するため、指揮本部に救急隊長を配し判断を仰いでいます。

放射線危険区域内の活動については、特別救助隊による区域内の空間線量率測定が行われ、救助隊による救出活動が行われました。全ての隊員が面体装着し活動を行っています。指揮本部では遮蔽体破損時を想定した最大被ばく量の算定から活動時間を決定し、空気呼吸器の残圧と併せて進入管理を行っています。

隊員の二次汚染防止策については呼吸管理を含めた防護装備の徹底と、活動終了後の汚染検査と脱衣除染が徹底されました。

今後の検討課題

今回の訓練では、あらゆる場面で活動隊員の不足が訴えられました。指揮本部を運営するにあたり、通信担当の配置は必須であり、救助隊、救急隊の増強隊数についても再考の必要があります。仮に要救助者が挟まれ等により容易に救出できない場合、空気呼吸器で活動する隊員の交代要員として、レベルC装備に対応できる特別救助隊の増強が必要となります。

今回の訓練では放射線災害の特殊性を考慮し、要救助者の緊急性を判断するため指揮本部に救急隊長を配し、救出の優先順位についての検証を行いました。一般的には緊急性の高い要救助者から救出に着手するのがセオリーですが、滞在時間が長くなるほど健康被害をもたらす放射線災害時の救出優先順位の考察については、今後も専門家の意見を交え検討していく必要があります。

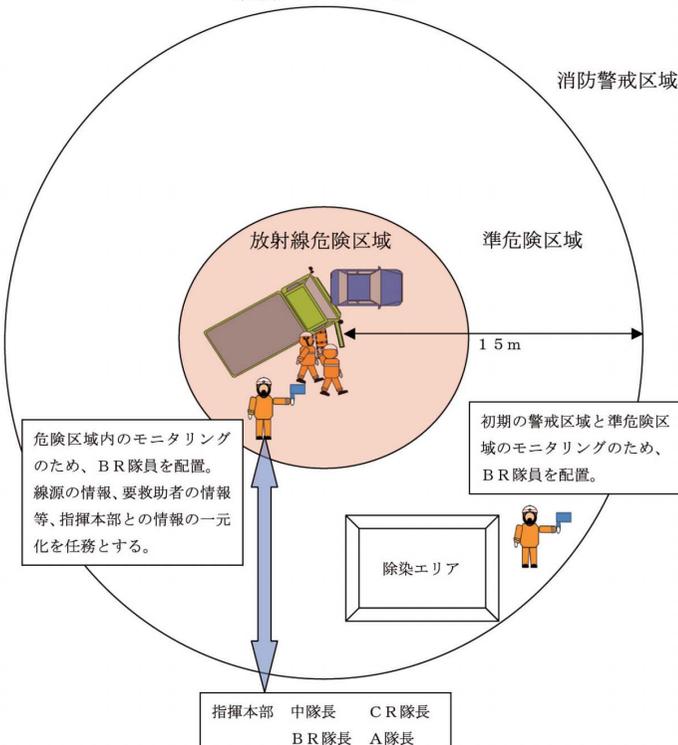
おわりに

放射線災害は発生頻度が低く、また対応には専門的な知識

が必要となります。しかし、東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故を例にとっても、我々消防機関がファーストレスポンドーとなる可能性は高いと思われま

す。に危機感を持ち続け、想定外の事象に対応すべく事前準備を欠かさないことこそが、我々消防機関として必要な姿勢ではないでしょうか。
(文責 野中)

訓練イメージ図



調査 鑑識

子防部子防課

平成28年9月16日に、平成28年度大阪市火災調査事例発表会が消防局の7階講堂で開催され、各署の応募事例から選ばれた5事例が発表された。発表の内容を平成28年12月号から紹介しているが、今回は1事例を紹介する。

今回のテーマ

平成28年度 大阪市火災調査事例発表会(その3)



発表要旨

事例4

「自主回収対象品である高圧真空遮断器からの出火事例」

浪速消防署

消防司令補

消防司令補

大山

能地

幸夫

裕幸

【火災の概要】

鉄骨造陸屋根ALC版張地下1階地上6階建住宅兼店舗の屋上において、高圧受変電設備「キュービクル」



台が焼損した火災である。この火災により、周囲一帯が停電し、交差点の信号機等が停止するなど、被害は広範囲に及んでいる。

【鑑識状況】

実況見分の結果、キュービクル内の真空遮断器(写真1)から出火した可能性が高く、内部を詳細に見分すると、真空バルブが3本設置されている(写真2)。そのうち正面側にある真空バルブ(以下、「バルブA」という)付近は、絶縁フレームが白



写真1 真空遮断器(正面)

く変色しており、当該バルブAを固定するボルトやロッドに赤錆が生じている。本体から、バルブA(写真3)を取り外し、内部を見分するも異常は認められないが、付近の絶縁フレーム表面に稲妻状の模様が複数認められる(写真4)。絶縁フレームに、粘性のある透明な物質の付着が見分されているが、製造業社はアーク放電が発生した後に生成される硝酸の可能性が高いと説明したことから、この付近の絶縁が劣化していると考えられる。



写真2 真空遮断器(下面・右端がバルブA)

KEEP OUT CAUTION KEEP OUT KEEP OUT CAUTION KEEP OUT



写真3 バルブA付近

また、建物関係者は、過去にキュービクル内に水が溜まっていて、それが原因で下階に水漏れがあった旨供述している。さらに、当該真空遮断器は、キュービクル内への雨水の浸入や結露、塵芥等の付着によって真空遮断器の絶縁が劣化する可能性があるとして、製造業社から自主回収についての社告が発表されている。

【本事例からの教訓】
出火原因については、社告内容と同じであり、比較的内容に究明することができたが、今回のような、火災被害はもろろんのこと、二次的に大規模な停電を伴う波及



写真4 バルブAを取り外したもの

断器の絶縁フレームにおいて、結露等の水分の付着により絶縁が劣化し、最終的には、トラッキング現象が発生し、出火に至ったものと判定した。

事故も発生する恐れがある火災は、その社会的影響は大きく、より徹底した再発防止に向けた取り組みが必要であり、引き続き再発防止についてメーカーと協議していくこととなった。その結果、社告内容に関する周知を再徹底し、告知文についても、「火災」等の文言がなくなり危険性が十分に伝わる内容でなかったものから、告知文中に「火災」等の文言を明記するものへと変更されることとなった。

今回のように、社告を公表したとしても、それだけでは不具合のある製品を回収することは非常に困難な事例もあり、類似火災の発生を防止するためには、継続的に広報活動等に取り組んでいくことが大変重要であると認識させられた事案であった。

(次号へ続く)

(文責 竹田)

.....お知らせ.....

大阪市消防局 メールマガジン会員募集

地域の防火・防災に関する情報をメールマガジンで配信！

大阪市消防局では、地域の防火・防災に関する情報を提供し、市民の皆様と情報交換を行うことにより、安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現を図るため、メールマガジンを配信いたします。

◆ 配信内容

- (1) 各種行事のご案内
- (2) 地域の防火・防災からのご案内 他詳しくは、大阪市消防局ホームページをご覧ください、会員登録を行ってください。

大阪市消防局ホームページ

<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>



多くの方の登録を
待っています



お問い合わせ先：大阪市消防局予防部 予防課地域防災
電話番号：06 (4393) 6332



年末年始における着信状況

今月は、平成28年度の年末年始における着信状況（速報値）についてお知らせします。

日付	平成28年12月			平成29年1月			合計 (6日間)	平均 (1日あたり)	
	29日	30日	31日	1日	2日	3日			
曜日	木	金	土	日	月	火			
着信件数	1,424	<u>1,832</u>	1,705	1,655	1,828	1,587	10,031	1,671.8	
病院案内	923	<u>1,216</u>	1,048	1,076	1,164	970	6,397	1,066.2	
医療相談	373	475	512	436	<u>532</u>	478	2,806	467.7	
救急車 必要	市内	<u>10</u>	8	7	8	3	7	43	7.2
	府内	9	8	10	<u>14</u>	11	4	56	9.3
その他	20	19	15	15	16	<u>24</u>	109	18.2	

この期間中における最多着信件数は、12月30日（金）の1,832件でした。

（参考：昨年の期間中における最多着信件数は、12月30日（水）の1,880件）

まだまだ、寒い毎日が続きますが、体調管理には十分注意していただき、異常を感じたら「救急安心センターおおさか」等を活用するなど、早期の対処に心がけてください。

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
12月中合計	2	1	18	41	62	6	0	0	16	84
平成28年12月末累計	24	18	166	405	613	66	0	3	167	849
平成27年12月末累計	18	16	154	457	645	50	2	1	172	870
累計比較	6	2	12	▲52	▲32	16	▲2	2	▲5	▲21

◎救急概況

	救急出場
12月中件数（概数）	20,894
平成28年12月末累計	226,048
平成27年12月末累計	219,876
累計比較	6,172

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成28年12月末累計	3,121	1,128	9	1,265
平成27年12月末累計	2,953	1,186	7	1,302
累計比較	168	▲58	2	▲37

屋内消火栓設備について ～昇任試験対策編～



キセイカ ナビ

vol.44

From 予防部規制課



みなさん、こんにちは。今回は、消防用設備の「屋内消火栓設備」について勉強しましょう。

屋内消火栓設備とは、火災の初期消火を目的としたもので、人が操作して使用する設備です。

1 屋内消火栓設備の設置が必要となる防火対象物又はその部分は、下表1による。

表1 設置基準表(令第11条第1項、第2項関係)

令別表第1	延面積 (㎡)				地階、無窓階又は4階以上の階 床面積(㎡)
(1)項	500	(1,000)	【1,500】	以上	100 (200) 【300】 以上
(2)項～(10)項、(12)項、(14)項	700	(1,400)※1	【2,100】※1	以上	150 (300) 【450】 以上
(11)項、(15)項	1,000	(2,000)	【3,000】	以上	200 (400) 【600】 以上
(16の2)項	150	(300)	【 450】	以上	

() …主要構造部を耐火構造とした防火対象物又は建築基準法第2条第9号の3イ若しくは口のいずれかに該当し、かつ、壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを難燃材料とした防火対象物

【 】 …主要構造部を耐火構造とし、かつ、壁及び天井の室内に面する部分の仕上げを難燃材料とした防火対象物
※1…令第12条第1項第1号で定める防火対象物については、1,000㎡

ポイント

令第12条第1項第1号

次に掲げる防火対象物(第3号及び第4号に掲げるものを除く。)で、火災発生時の延焼を抑制する機能を備える構造として総務省令で定める構造を有するもの以外のもの

イ 別表第1(6)項イ(1)及び(2)に掲げる防火対象物

ロ 別表第1(6)項ロ(1)及び(3)に掲げる防火対象物

ハ 別表第1(6)項ロ(2)、(4)及び(5)に掲げる防火対象物(介助がなければ避難できない者として総務省令で定める者※2を主として入所させるもの以外のもの)にあっては、延べ面積が275平方メートル以上のものに
限る。)

※2規則第12条の3

2 各屋内消火栓設備の主な技術基準の違いについては、下表2による。

表2 技術基準対照表(令第11条第3項関係)

	1号・易操作性1号消火栓	2号消火栓	広範囲型2号消火栓
防火対象物 その部分 } の区分	A:工場又は作業場 B:倉庫 C:A又はBの地階、無窓階、4階以上の階 D:指定可燃物(可燃性液体類に係るものを除く)を危令別表第4で定める数量の750倍以上貯蔵し、又は取り扱うもの E:AからD以外の防火対象物	左欄のAからDまで以外の防火対象物	
水平距離	2.5m以下	1.5m以下	2.5m以下
水源	2.6㎡×設置個数の最も多い階の個数(最大2)	1.2㎡×同左	1.6㎡×同左
放水圧力	0.17MPa以上	0.25MPa以上	0.17MPa以上
放水量	130ℓ/min以上	60ℓ/min以上	80ℓ/min以上
加圧送水設備の種類 (規則第12条第1項第7号関係)	・高架水槽・圧力水槽・ポンプ		
非常電源の種類 (規則第12条第1項第4号関係)	・非常電源専用受電設備(特定防火対象物で延べ面積1,000㎡以上のものを除く) ・自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		

☆「広範囲型2号消火栓」は、平成25年に追加されました。

要チェック

【凡例】 令…消防法施行令 規則…消防法施行規則 危令…危険物の規制に関する政令





環状線

LOOP LINE



カラーページとなりレイアウトも大幅に変わりました。コンセプトは、見やすく読みやすくです。各署のホットニュースをご覧ください。

Pick Up

水上

神戸市消防局消防艇との洋上連携訓練

11月18日、25日の両日、舞洲沖海域において神戸市消防局消防艇「たちばな」大阪市消防局消防艇「まいしま」「ゆうなぎ」及び救助艇「ゆめしま1号」が参加して洋上での船舶火災訓練を実施した。

交互に被災船と消防艇に分かれ情報収集、船内進入放水訓練及び救出訓練を実施し実災害さながらの有意義な訓練ができた。

神戸市、堺市、大阪市により「大阪湾消防艇相互応援協定」が締結されている関係で定期的に勉強会や意見交換会を実施して顔の見える関係が構築されており今回が初めての洋上での連携訓練となった。

大阪湾内での船舶火災、海難事故等大規模、又は特殊災害に対して、消防艇を保有する神戸市との連携強化と乗組員相互の意思の疎通が図れた。(小林)



福島

福島消防署ふれあいフェスティバル

11月12日、当署においてふれあいフェスティバルを開催しました。起震車や消防こども服の装着体験に加え、セイバーミライと朝日放送キャラクターのエビシーも登場し、署内は大変にぎわうとともに、消火隊・救助隊の訓練では、普段なかなか見ることの無い消防士の姿に沢山の歓声が沸き起こりました。消防署を身近に感じ、楽しみながら防火の大切さを知っていただけた1日になったと思います。(山田)



©ABC ©TOMY「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

北

北消防署防災ワークショップ

12月10日、澄み渡った青空のもと、「梅田スノーマンフェスティバル」に伴い、当署において防災ワークショップを開催した。当日は、当署のマスコットキャラクター「明ちゃん」・「敏ちゃん」が登場し、心肺蘇生や初期消火、



ロープワーク体験等を通じて防災意識の普及向上を図った。厳しい冷え込みの中でも、明ちゃん・敏ちゃんの人気は健在で、親子連れの方を中心に盛況を博し、親しまれる消防を実現できた1日となった。(秦)

此花

命を守った初期消火

ある日曜日、多くの家族連れで賑わう温泉施設を突然火災が襲いました。「火事や!」という声を耳にした新胡正信(しんえびすまさのぶ)さんは、真っ先に火災の発生を従業員に知らせ、燃え上がるマッサージチェアの炎を施設内の消火器で消しました。もし、初期消火が遅れていれば大きな被害が出ていたかもしれません。この勇気ある功績を称えて芳森署長から感謝状を贈呈致しました。新胡さん、ありがとうございました!(飛田)



都島

「都島自衛消防技術練成会」を開催!!

11月22日、管内の事業所自衛消防隊15隊が集まり「第31回都島自衛消防技術練成会」を開催しました。

火災発見、通報、初期消火、負傷者を救出するという想定で競技が行われ、気迫のこもった訓練の結果優勝は「大阪拘置所」、2位「太閤園」、3位「京阪モール」となり、迅速で安全的確な訓練に見学されていた地域の方々からは感嘆の声があがり、参加者も防火の重要性を再認識する訓練となりました。(山野)



港

港自衛消防技術競技会開催

12月6日、当署において港自衛消防技術競技会が開催され、「屋内消火栓操法」で日頃の訓練の成果を競い合いました。男子隊及び女子隊合わせて13隊39名が参加、隊員3名が力を合わせ、より速く、よりの確に炎に見たてた標的に放水し、規律ある熱のこもった操法が繰り広げられました。

結果は、男子隊、女子隊とも(株)かんでんエンジニアリング福崎事業所が最優秀隊となり、無事閉会しました。(鈴木)



中央

職場体験学習

11月10日・11日の2日間、大阪市立東中学校の生徒3名が、職場体験学習にやってきた。阿倍野防災センターでの体験学習や、実際に消防隊が現場活動をする装備を全装着しての消火訓練と救助訓練を行った。

日頃から部活動をしているだけあって、誰も弱音を吐くことなく、最後まで訓練をやり遂げた。今回の体験学習で、消防という仕事に興味を持ち、将来の防火防災の担い手になってくれることを期待したい(高橋)



大正

叫ぶ一年生!

12月8日署内意見発表会が開催され、それぞれの思いが発表される中、「うりゃ〜」の叫び声とともにひととき大きな声で想いのたけを綴った一年生!消防士。救助訓練では先輩とコンビを組み、救助技術近畿地区指導会への切符を手にし、次は意見発表会で・・・と二匹目のドジョウを狙うも、本人の手応えとは裏腹に残念な結果となったが、そのやる気と元気で二年目に向っての飛躍と、近畿地区指導会での活躍を願う。(上原)



西

積重ねの成果!

イオンモールにおいて救命事案発生、現着すると警備員による誘導・停車位置の指示、従業員による進入路確保・先導案内。救急現場では傷病者にAEDが施されて、救急隊到着時には心拍が再開していた。特筆すべきは、傷病者の処置中、「救急処置中」という看板とヒューマンフェンスで人目を遮断していたこと。これらはひとえに社内教育、講習の積重ねの成果であり、砂田署長より、事業所と竹内さんに感謝状を贈呈した。(岡井)



西淀川

予防部長表彰受賞

田中士長が予防部長表彰を受賞した。庁内ネットワークパソコンを用いたプログラムを作成し、危険物規制に係る事務に要する時間の短縮など業務負担の軽減、また、人材育成に大きな成果をもたらせたことが評価された。普段から誠実に職務に取り組む姿勢があつてこそその着眼点でありアプローチである。各署、各事業所で教育資料として活用される等、市民サービスの向上及び危険物保安に関する安全意識の高揚に大きく寄与した。(岡藤)



天王寺

天王寺消防署 健康体操部

当署には、あるトレーニングを行う健康体操部がある。フル装備での腕立て、スクワット、懸垂等の筋力トレーニングのほか、ホース、エンジンカッターを持つての階段ダッシュなど。この部活動では、過酷な災害現場に負



けない体力・精神力の強化、連帯感、信頼関係の向上といった効果も生まれている。我らが浦田部長を中心に、多くの市民を守るため、強靱な肉体と精神力の強化に、今日もみんなでフィットネス!(中西)

淀川

意見発表会

選ばれた職員がそれぞれの消防に対する熱い想いを5分以内にまとめ発表する機会です。経験年数も経歴も違う若手から中堅までの職員がそれぞれの立場での想いを伝えてくれました。若手職員にとっては先輩上司に個性を知ってもらおうアピールの場であり、中堅職員にとっては自己の経験を伝え育成につながる場です。この意見発表会は職員間のコミュニケーションの活性化につながる良い機会となっています。(中辻)



浪速

目指せ日本一!!

平成28年度救助隊連携訓練が11月に、高度専門教育訓練センターで行われ、火災救助訓練(応急はしご救助)で1部は優秀賞、2部は最優秀賞に輝いた。(応急はしご救助とは、火災現場において2階もしくは3階に逃げ遅れた人を三連はしごを使用して迅速かつ安全に救出する方法)。この結果に甘んじることなく、これからも日々訓練に励み様々な災害現場に対応できる日本一の救助隊を目指していきたいと思ひます。(井上)



生野

初めての体験!

11月27日に巽東小学校の児童と地域住民の方とで防災訓練を実施しました。「防災体験シアター」を使用した初めての訓練で、ドーム型のシアターにおいて、映像により自らが火災や地震、救急等の災害を実際に体験しているかのように感じるこ



のようになっており、地域の方にも児童からも非常に好評であった。災害に強い街を目指して、これからも様々な訓練を地域の皆さんと共にしていきたい。(魚岡)

東淀川

教室が避難所?

新東淀中学校で少し変わった防災への取り組みがあった。1年の6クラスがそれぞれの教室を避難所と見立て、机や椅子の配置を変え避難所づくりを体験した。事前学習をした福祉避難所的な設定で、教室を男女別に区切り、椅子を並べてベッド代わりとし、プライバシー保護のため体操服をカーテン代わりに活用し、車イス使用者等の利便を考えるなど生徒独自のアイデアで立派な避難所ができた。彼らも立派な防災人である。

(北野)



旭

警察消防合同歳末警戒発隊式

12月1日、旭区民センターにおいて、恒例の旭警察署との合同歳末警戒発隊式を開催した。ホールでの式典後は、火災や犯罪が増える年末に向け、区民が安心して新年を迎えられるように、坂本一日消防署長や多くの来賓の方が見守る中、消防車やパトカーなどの車両部隊が旭区内のパトロールに出発し、消防と警察がお互いの士気を高め、団結することができた式典となった。(徳川)



東成

子ども達の感謝・激励訪問

「消防署の皆さん、いつも、町を守ってくれてありがとう。これからも、よろしくお願ひします」と区内の小市保育園、熊野幼稚園の子ども達の訪問を受けました。これは、毎年秋、子ども達が花を持って、消防署員に感謝と激励を伝えに恒例となっているものです。訪問を受けた消防署員は、「火事のない街を皆さんといっしょにつくりま



阿信野

消防協力団体の合同施設見学会

11月15日、自衛消防協議会等の合同施設見学会に23名の会員に参加頂いた。阪神・淡路大震災を機に地震と災害に対する防災と減災を題材とした神戸市の「人と防災未来センター」を見学した。各階テーマごとに分かれ非常に見学しやすく、語り部による震災当時の苦労話や震災破壊のすさまじい迫力ある映像に圧倒され、会員たちは「災害に強いまちづくり、地域づくりが必要だ」という思いを改めて感じた見学会となった。(渡辺)



城東

勇気あるその行動こそ地域防災力

平成28年10月6日、一般住宅の台所で発生した火災において隣人ご夫婦が協力して、5本の消火器を使用して、初期消火に成功!この勇気ある行動がなければ延焼拡大する危険大であった。迅速的確な勇気ある消火に対して高田署長より感謝状が贈呈され、贈呈式において夫婦は「当然のことは行っただけで、毎年、防災訓練に参加しており非常に役に立ちました」と話されており、改めて地域防災訓練の重要性を認識した。(村田)



住之江

中学校3年生に感謝状贈呈

10月下旬の深夜、南港南中学校3年生西脇涼平さんは自宅内で「パチパチ」という音に気づき駐輪場から煙が出ているのを発見、階段を駆け降り自転車が燃えているのを確認するや否や母親に119番通報を依頼、自らはマンションの1階に設置されている消火器を使用して初期消火を行った。自転車数台が焼けたが建物への被害はなかった。迅速な行動により被害を最小限に抑えたことに対し、北野署長より感謝状が贈呈された。(松井)



鶴見

伝承

11月下旬、地域住民等への指導力向上のため、若年層職員を対象とした可搬式ポンプの説明及び操作要領の効果測定を実施した。先輩職員から指導要領の特訓を受けた若年層職員達は創意工夫したトークと実技で、審査者から合格をもらうことができた。今回、効果測定を受けた若年層職員が指導力を防災訓練等で発揮してくれることを期待するとともに、将来は自らの指導力を後輩職員に「伝承」してくれることも併せて期待する。(小島)



平野

自衛消防技術練成会事前訓練

南海トラフ地震の発生が危惧され、被害が発生すれば、消防署を始め公的機関の活動にも限界があり、自衛消防隊を中心とする自主防災体制の確立がこれまで以上に必要となる。自衛消防技術力の向上が必要であるとの事業所会員の要望に応え、今年度から平野自衛消防技術練成会が開催されることになった。職員の指導の基、各自衛消防隊が訓練回数を重ねる度に技術力向上が見られた。

(小川)



住吉

住吉区総合防災訓練

住吉区内全域で総合防災訓練が行われ、住吉区民センター大ホール、沢之町グラウンドの消防コーナーで、地震体験車、煙ハウス体験、水消火器体験、感震ブレーカー及び防災体験シアターの研修を実施しました。大盛況で、区民の方々から防火・防災に関するたくさんの質問が出たりし、意識の高さが伺えました。「こういう機会にしかできない貴重な体験ができてよかった」など、たくさんのうれしい声が聞こえてきました。(広永)



西成

西成消防署(受付)から発信!!

年末年始と慌ただしい時期に防火防災意識の向上と周知徹底を図るために本署受付の前面ガラスを活用しました。本署は国道26号線に面し天下茶屋駅、岸里駅への通過位置でもある為、沢山の方々が消防署の前を往来します。前面ガラスに年末年始の風物詩のイラストと「火の用心」を掲示し多くの市民に防火防災を呼びかけました。これからも西成本署受付から大阪市の防火防災を発信していきます。(高田)



東住吉

技術の伝承

12月のある日、今春卒業される安田さん(高度技術士長)から、機関教養中の南出消防士に「技術の伝承」が行われた。これまでの消防生活や機関員として培った知識・技術はもちろんのこと、心構えも伝えていた。普段物静かな安田さんも、この時ばかりはエンジン音に負けないほどの声を出し、さまざまな注意点などを説明していた。他の若い職員たちもその説明を聴こうと車両付近に集結。

日没になっても熱い講義は続いた。(岡)





Pick Up

救急部救急課

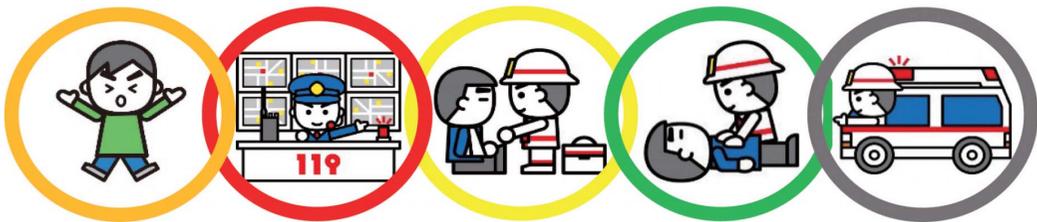
Chain of Survival 救命の連鎖(時間との戦い)

昨年7月下旬の夜「自宅内で67歳男性が急に倒れた」との119番通報。通報を受けた指令管制員は、通報者が傷病者から離れた場所で通報している事に気づき、固定電話から携帯電話に切り替えてもらうとともに、即座に応急手当を行うように伝えました。到着した救急隊は、現場状況を見て、廊下が狭く、活動が困難になると判断し、救急支援隊を要請。支援隊として出場した消防隊の小隊長は、指令内容から現場状況を理解し、到着する前に隊員らに役割分担を指示。現場到着後は救急隊と連携し、救命処置の補助を実施。BLS(心肺蘇生法)を消防隊が行う事で、救急隊は除細動、気道確保及び薬剤投与に専念する事ができ、間もなく傷病者の心拍と呼吸が再開しました。蘇生に成功した後も傷病者の容態を悪化させる事無く医療機関に搬送。

心肺停止状態からの社会復帰には欠かせない「早い通報・早い応急手当・早い救命処置・早い医療処置」と言われる“救命の連鎖”が功を奏した事案でした。一見当然の活動と捉えられる事案ですが、一度心肺停止に陥った傷病者にとって、蘇生するために残された時間は決して多くありません。

その限られた時間の中で、指令管制員・救急隊・消防隊各部署の消防職員が、日頃培った知識・技術を活かし、傷病者の命の灯を消さぬよう“時間との戦い”を意識し、刻々と変化する状況を見逃すことなく、効果的に活動しています。この事案はその様な連携が垣間見える模範とする内容でした。傷病者の予後ですが、社会復帰に向けてリハビリも開始されており、快方へ向かっています。

(文責 重松)





茨木市消防本部

モノレール非常時合同訓練を実施！

本市を走行する大阪モノレール彩都線で非常時の対応訓練を実施しました。

この訓練は、本市消防本部と大阪モノレールサービス株式会社等の関係機関が参加し、「クレーン車のアームが列車と接触したことにより、車両が損傷し全線が停電したことにより、車両内に負傷者や多数の乗客が取り残された」という想定で実施しました。地上約13mのモノレール車両から、はしご車による救出や、担架及び緩降機による負傷者の救出訓練を行い、途中「電源が復旧した」ということで反対線にモノレール車両（4両編成）を横づけし、乗り移る救助訓練を行いました。

この訓練を通じて、高所を走行するモノレールで100人を超える乗客を避難させることを想定した消防活動が行え有意義な訓練となりました。

今後も多様化する災害に対応するために、関係機関との合同訓練を実施し連携強化と災害対応能力の向上を図っていきたいと考えております。



泉大津市消防本部

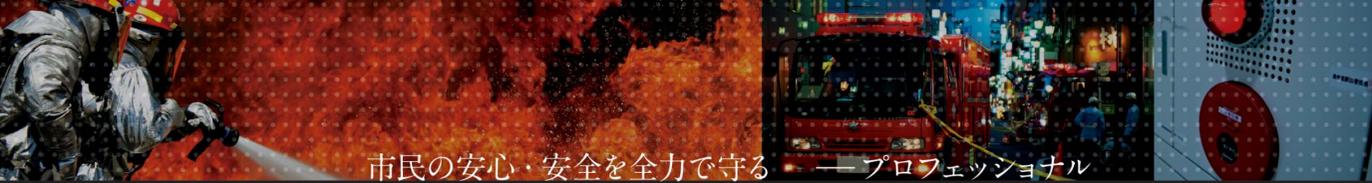
高規格救急自動車の寄贈について

泉大津市消防本部は、平和オート株式会社（代表取締役社長 阿部昌利氏・泉大津市なぎさ町）から高規格救急自動車及び救急資機材一式が寄贈され、平成28年9月1日から運用を開始しています。

この高規格救急自動車は、阿部社長の地域に対する感謝の気持ちと、ひとりでも多くの市民の生命を守ってほしいとの思いから、同社の創立50周年記念事業として寄贈して頂いたものです。

寄贈にあたり3台ある高規格救急自動車の内、長年使用してきた1台を更新することができました。また、新たな仕様として装備した人工呼吸器は、従来の機能に加え、自動で吸気時に換気する機能があり、低酸素状態を的確に改善することが期待されます。

当市消防本部は、今回の寄贈を機にさらなる救急隊員の技術・知識の向上を図り、年々増え続ける救急需要に対応し、ひとりでも多くの市民の生命を守るため、寄贈された高規格救急自動車を最大限に活用し運用していきます。



市民の安心・安全を全力で守る — プロフェッショナル

防火ポスターが完成
『めざす先は 火災ゼロ』

守口市門真市消防組合消防本部



守口市門真市消防組合消防本部 守口消防署 門真消防署 守口市消防火警隊 守口市消防団 門真市消防団

守口市門真市消防組合では火災予防運動をはじめ、年間を通じて広く市民に火災予防を呼びかけるため、毎年オリジナルの防火ポスターを製作し、守口市及び門真市内の事業所、店舗、官公庁等、市民の目に触れる場所に掲出しています。

今年度の防火ポスターは、三連はしごを担いだ消防士が、いち早く災害現場をめざして走り出す姿に「めざす先は火災ゼロ」のキャッチフレーズと数字の「0」を強調した構図になっています。

これは消防が目指す目標である「火災ゼロ」は市民の願う「安心安全な暮らし」につながり、その目指す先が消防も市民も同じであることを訴えることで、火災による被害を軽減する効果を期待できるものになりました。

我々も、この防火ポスターにより防火啓発を行うことで、市民の安全を確保していきます。



大阪狭山市消防本部

～女性消防団活動～

大阪狭山市消防団女性分団は、女性の視点を様々な消防団活動に取り入れ、消防団の活性化、組織強化を図ることを目的に、平成25年8月1日に発足しました。

平常時には、市総合防災訓練や消防出初式、街頭防火キャンペーンなど様々な活動を積極的に行っています。

また、今後大規模な災害が発生した場合には、救護活動や避難所運営の後方支援活動が行えるよう体制づくりに努めているところです。

平成28年9月4日(日)には、大阪府立消防学校で開催されました第60回大阪府消防大会でも、分団員の特技を活かしたバルーンアートや防火衣の装着体験、顔出しパネルや消防展示車両での写真撮影コーナーなどのブースを出展し、親子連れなど多くの来場者に対して、楽しんでいただきながら広く防火防災対策の重要性について、訴えました。

「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」完了報告書

「小児救急支援アプリ」

救急課

小児救急支援アプリの概要

小児救急支援アプリ(以下「本アプリ」という)は、小児(15歳未満)が突然の病気やケガをした場合に、誰でも簡単にその症状をチエックすることで、緊急性の判断を行うことができることも、119番通報による救急要請や#7119電話救急医療相談事業(救急安心センターにおおさか。以下「安心センター」という)への電話発信が可能であるほか、端末に内蔵されているGPS機能を活用して、現在地から選択された近くの小児科系医療機関(救急病院、診療所、クリニック等)のうち小児科を設置しているもの(の地図表示及び電話発信までのすべての操作がワンストップで行えるスマートフォン専用アプリです。

本アプリは、(一財)救急振興財団の「平成27年度 救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」の委託を受け、大阪大学医学部、大阪市立大学医学部との共同研究により開発しました。

開発の目的

大阪府内では、平成22年12月から安心センターを大阪府内全市町村により共同運営しています。同センターへの着信件数は、平成27年中26万件(1日平均約720件)を超えましたが、そのうち救急医療相談されたケースを見てみると、小児科領域の相談が実に51.8%を占めています。そこで、小児科領域の病気やケガの緊急性の判断が、医学的知識の少ない住民でも簡便に行えるようなシステム構築が必要と考え、本

アプリの研究・開発に取り組みました。

小児救急支援アプリの特長

- 誰でも簡単にお子さんの病気やケガの緊急度が判定できる。安心センターで実際に使用している医療相談プロトコール(小児用)を市民向けのわかり易い表現に見直し、利用者に高度な医療知識が無くても、比較的簡単に症状をチエックし、緊急度の判定ができます。
- 利用者が次にとるべき受診行動に素早く誘導することができ
- 1で出た緊急度の判定結果で、緊急度が高い場合、119番通報するように利用者を誘導することができます。また一方で、119番通報することにした

- めらいがある場合や、さらに詳しく相談したいという利用者には、安心センターへ誘導して電話接続ができ、看護師に救急医療相談をすることができます。
- 直近の小児科系医療機関の地図を表示し案内できる。
- 1で出た緊急度の判定結果で、緊急度が低い場合、スマートフォンに内蔵されているGPS機能を利用して、利用者の現在地から近い順に、症状に合った小児科系医療機関を案内することができます。

また、その医療機関の地図が表示できます。

小児救急支援アプリの沿革

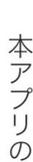
本アプリの沿革については、に示すとおり、平成28年4月1日より大阪府内全域の小児科系医療機関(計1,349機関)の案内が可能となりました。

図1

運用開始日	対応 OS		小児科系医療機関 案内対象地域
	Android	iOS	
平成27年9月9日	○	×	大阪市内
平成28年3月1日	○	○	大阪市内
平成28年4月1日	○	○	大阪府内

これまでの利用状況(平成28年3月1日から平成28年11月30日)

本アプリのダウンロード数及び使用件数については、図2に示すとおり、ダウンロード数は1カ月平均で約570件、使用件数は1カ月平均で約970件となっています。

	ダウンロード数		使用件数	アプリによる利用結果						
	Android	Phone		119番	#7119	#8000	病院検索	科目検索	様子を見る	合計
3月	165	524	900	1	13	0	337	105	51	507
4月	217	497	986	3	10	1	357	84	58	513
5月	239	370	863	0	15	1	254	34	39	343
6月	293	477	1015	0	21	0	260	32	59	372
7月	207	369	1145	4	22	0	253	60	74	413
8月	238	393	918	0	26	0	208	42	53	329
9月	185	429	1211	2	22	2	362	75	40	503
10月	68	212	869	1	15	0	182	45	52	295
11月	49	225	813	1	35	0	192	37	49	314
合計	1661	3496	8720	12	179	4	2405	514	475	3589

図2

※「使用件数」と「アプリによる利用件数」の合計が一致しないのは、利用者がアプリを使用したものの、表記カテゴリーのボタンを押下する前に、アプリ操作を終了したことが原因であると推測されます。

また、緊急度判定の結果から119番通報に至ったケースもあり、本アプリの使用により緊急度の高い利用者に対して早期の救急要請につなげた奏功例と言えます。

なお、本アプリは安心センター事業の一環として運用していますので、緊急度が「高」「中」であれば、アプリ上での緊急度判定にとどまらず、次の受診行動の選択肢として安心センターへの電話相談を提示し、利用者の安全・安心をさらに担保するよう図っています。

今後の展開

本アプリを使用する過程で蓄積されたデータログ(利用履歴)を収集し、利用者の受診前行動等について、共同研究者の大学と連携して分析を行うことで、今後の救急需要対策の一環として施策に反映させるとともに、本アプリの更なる利便性の向上に努めてまいります。
(文責 吉田)

発熱の場合

<画面表示コメント>

119番通報し、救急車を手配してください。

救急安心センターに相談してください。

病院の検索を行います。

<判定結果>

緊急度「高」

119番通報

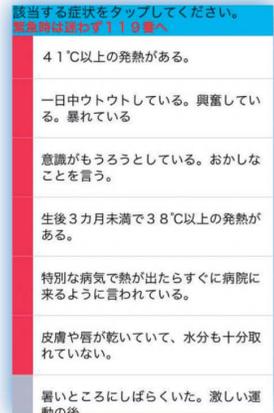
緊急度「中」

救急安心センターおおさか

緊急度「低」

病院検索

<症状・症候チェック画面>



検索



一覧表示

医療機関表示



「大阪府下消防長会警防救急委員会 第1回 大阪府下消防活動事例発表会」開催結果

北方面隊



はじめに

これまで大阪府下消防長会警防救急委員会の事業として開催していた「大阪府下火災事例発表会」を火災以外の消防活動や各本部で取り組んでいる訓練手法や研究についても情報共有を図ることが必要ではと考え、火災事例を対象としていた募集事例も消防活動全般とし、名称についても平成28年度から「大阪府下消防活動事例発表会」（以下、「消防活動事例発表会」とい）と変更しました。

さらに、特異な事例・社会的影響のある災害事例については府下に限らず、外部より講師を迎え、情報提供・講演により紹介するとい一部構成としました。

事例発表の部では、7消防本部（局）から6事例の発表、第2部

の外部講師による講演では東広島消防局から講師を招き、平成28年3月に発生した山陽自動車道でのトンネル火災について講演していただきました。

開催概要

開催日時

平成28年10月17日（月）
10時15分から12時45分

開催場所

大阪市消防局 7階講堂

発表事例

6事例及び講演

参加人員

- 1 発表者及び補助者 12名
- 8 消防本部（局）
- 2 聴講者 300名
- 大阪府下消防職員

発表事例概要

事例発表の部（発表順）

1 松原市消防本部

危険物（ガソリン）の大量漏洩事故

・発表者

消防司令補 武信 佳幸

・補助者

消防士 西山 聖隆

事故によりタンクローリーに積載



していたガソリン9800ℓが漏洩、高速道路の排水管を通じ直下の側溝や水路に流れ込み市内の広範囲に拡大した事案で事故の形態を知り、今後の類似事案に活かすもの。

2 堺市消防局

太陽光発電システムに潜む活動危険と安全対策

・発表者

消防司令補 遠藤 寛道

太陽光発電システムに潜む消防活動上の活動危険を周知するとともに安全対策についての紹介。

3 枚方覆屋川消防組合消防本部

一般住宅建物火災での延焼防止並びに熱中症対策

・発表者

消防司令長 古川 浩

隣接建物への延焼防止を積極的に行い、類焼を最小限度に抑えることが出来た事案の戦術の検証。あわせて、高温多湿の状況下での活動時に発生した熱中症に対する安全・健康管理について。

4 八尾市消防本部

八尾空港で発生した小型軽飛行機墜落事故の概要

・発表者

消防司令補 田口 勝己
・補助者 消防士 田口 夕喜

八尾空港で発生した航空機火災事案について、府内消防本部(局)への情報提供と本事案を通して航空機災害の形態を知り、今後の類似災害に活かすもの。

5 河内長野市消防本部・柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

滝畑ダム救助事案を通して見えたもの、他市消防本部との連携及び情報伝達の難しさとこれらの協力体制について

・発表者

消防司令補 今西喜代嗣

(河内長野市消防本部) 消防司令補 森川 武治

(柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部)

滝畑ダムで発生した車両転落事故を通して、他消防本部応援隊との情報共有、現場における連携活動の難しさ、中ブロック内における連携強化・協力体制作りについて。

6 大阪市消防局

知識を現場に活かす

・発表者

消防司令補 田中 信成
・補助者 消防司令補 竹田 茂広

火災現場における活動順位の優先順位、消火戦術等を意識させるための新たな訓練手法について。

外部講師による講演

東広島市消防局

「山陽自動車道下り線 八本松トンネル車両火災」

・発表者

消防司令補 信田 浩司

消防士長 大城 賢

高速道路トンネル内での車両火災、それに伴う多数傷病者が発生した事案の活動を通じて、今後の災害活動に活かすもの。



おわりに

前述のとおり、今回発表された6事例は火災事例に限らず、消防隊が災害現場で感じた貴重な教訓や課題のほか、事後に行った研究の成果であり、今後の警防活動において非常に参考となる内容でした。

また、第2部の講演ではニュースでも大きく取り上げられた事案であり、また実際現場で活動した隊員の生の声を聞くことができ聴講者からも大変有意義な時間だったとお声をいただきました。

今後火災事例に限らず「消防活動事例」を対象に、大阪府下各消防本部(局)で情報共有を図ることで、同様の災害に対する消防活動の知識と技術の向上、トータル被害軽減につながると確信しています。

最後に、この場をお借りしまして大阪府下各消防本部(局)のご協力及びご理解並びに関係各位のご尽力により、無事開催できたことに対して厚く御礼を申し上げます。

(文責 森岡)

はじめに

大阪市では、「生涯学習大阪計画」に基づく取り組みとして、各部署から募集した行政課題などに対して、市民により関心と理解を深めていただけるよう、市民の要請に応じて随時実施可能な出前講座形式で実施する「大阪市出前講座」を実施しています。消防局予防課では、調査鑑識が火災予防をテーマとして、実際の火災現場から暮らしの中に潜む火災のたまごについて、火災原因調査の視点からお伝えしています。



講座の様子

「大阪市出前講座」とは、大阪市の職員が、大阪市内に在住・在勤または在学する10名以上で構成された団体・グループを対象に用意された場所へ講師としてうかがうもので、市民にとって必要な課題やテーマについて、学習する機会を提供することを目的としています。調査鑑識では、大阪市内の事業所や福祉会館等に、平成27年度は17回、平成28年度は11回(12月末現在)うかがいました。講座中は、みなさん真剣に耳を傾けていただき、質問もたくさんあることから、充実した内容であると実感しています。

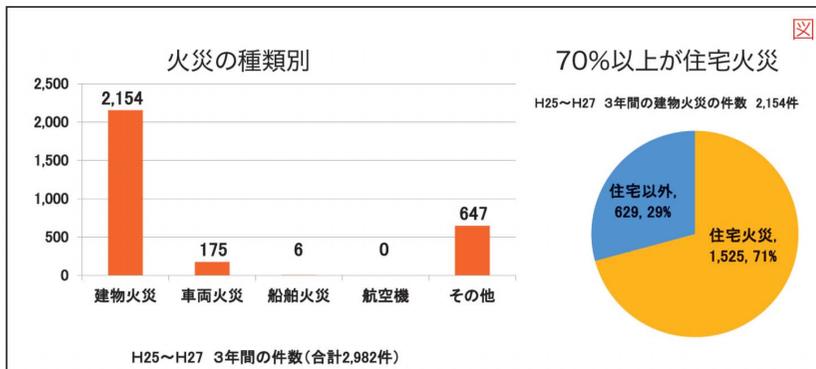
大阪市出前講座について

生涯学習
予防部めぐり各担当者からの情報発信
平成28年度大阪市出前講座

予防課
(調査鑑識)

講座内容

まず、初めに自己紹介を兼ねて大阪市消防局の概要や調査鑑識の仕事について紹介した後、実験を交えて小さな火種から出火に至るメカニズムを説明しま



す。たまに、聴講者から「某テレビ番組のように警察と協力して犯人を捕まえることがありますが？」と聞かれることがあります。「警察と協力して火災の原因を追究しますが、犯人を捕まえることはないですよ」とお答えしています。話はそれましたが、内容については、次の3つを中心に話をすすめています。

大阪市の火災について

大阪市の火災件数の推移から、火災の種類別の内訳、とりわけ建物火災が多く、その中でも住宅火災（共同住宅含む）の割合が高いことを紹介しています。また、住宅火災における死者の年齢割合について65歳以上が多いことも紹介しています。さらに、火災で死者が発生した状況を調べると、1人暮らし（1人だけでいた）、避難行動が不十分であったことがわかったことも付け加えて紹介しています。

(図 参照)

出火原因のトップである放火（疑い含む）による火災の防止対策として、建物の周囲に燃えや

すいものを放置しない、ゴミは収集日以外出さない、物置・空室・車庫等には必ず鍵をかけるなどの注意事項を説明しています。

次に多いたばこによる火災は、寝たばこ、たばこの不始末や投げ捨てなど喫煙者が気を付ければ減らすことができる火災であると説明しています。同様に、ガスこんろによる火災も使用者の心がけ一つで減らすことができると説明しています。

阪神淡路大震災や東日本大震災の火災統計から、震災時に多く発生する電気火災（通電火災）を防ぐため、地震が発生すれば、電気のブレーカーを切ったり、感震ブ

レーカーを使用することが効果的であると説明しています。

実験

火災が起こるメカニズムとして、電気プラグを用いたトラッキング現象や使用済みカセットこんろ用ガスボンベを用いた燃焼実験を行います。また、住宅用火災警報器や感震ブレーカーの作動要領の展示も行っています。

おわりに

本講座の目的は、市民に暮らしの中に潜んでいる火災の危険性を知ってもらい、日ごろからどのように備えたらよいか考えても

らうことで、出火防止と火災による被害の軽減を図っています。特に、火災による死者の多くが住宅で発生していることから、住宅で起こり得る火災を中心に話をしています。講座の終わりに火災を防ぐ方法として掃除や整理の大切さを伝えています。

火災を防ぐには、われわれ消防だけでなく、市民の協力も必要不可欠です。この講座を通して、市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」を実現するため、これからも1人でも多くの方に「熱い」講座を続けていきたいと思っています。
(文責 知野)



たばこの不始末による映像



トラッキング現象の映像



調理中の火が、シンク内に滞留したカセットこんろ用のガスボンベのガスに引火した映像

大阪市火災予防条例の解説(48)

規制課

今月号は、大阪市火災予防条例第32条及び32条の2第1項第9号までについて解説する。

〈少量危険物の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等〉

第32条 指定数量の5分の1以上指定数量未満の危険物(以下少量危険物という。)の貯蔵及び取扱い並びに少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う場所の位置、構造及び設備は、前条に定めるもののほか、次条から第32条の8までに定める技術上の基準によらなければならない。

(解説及び運用)

少量危険物の貯蔵又は取扱いについては、貯蔵し、又は取り扱う場所、タンクの種類等の貯蔵・取扱い形態(屋外又は屋内、地下タンク、移動タンク等)に応じた第32条の2から第32条の8までに定める所定の措置を講じることとされている。

〈共通する基準〉

第32条の2 少量危険物の貯蔵及び取扱いのすべてに共通する技術上の基準は、次のとおりとする。

- (1) ためます又は油分離装置にたまつた危険物は、あふれないように随時くみ上げること
- (2) 危険物を貯蔵し、又は取扱

う場所においては、当該危険物の性質に応じ、遮光又は換気を行うこと

- (3) 危険物は、温度計、湿度計、圧力計その他の計器を監視して、当該危険物の性質に応じて、当該危険物の性質に応じた適正な温度、湿度又は圧力を保つように貯蔵し、又は取り扱うこと
- (4) 危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合は、危険物の変質、異物の混入等により、当該危険物の危険性が増大しないように必要な措置を講ずること

- (5) 危険物が残存し、又は残存しているおそれがある設備、機械器具、容器等を修理する場合は、安全な場所において、危険物を完全に除去した後に行うこと

- (6) 可燃性の液体、可燃性の蒸気若しくは可燃性のガスが漏れ、若しくは滞留するおそれのある場所又は可燃性の微粉が著しく浮遊するおそれのある場所においては、火花を発生する機械器具、工具、履物等を使用しないこと
- (7) 危険物を保護液中に保存する場合は、当該危険物が保護液から露出しないようにすること
- (8) 危険物その他の物品との接触又は混合により発火するおそれのある危険物は、それらに近接して置かないこと。ただし、接触又は混合しないような措置を講じた場合は、この限りでない。
- (9) 危険物を加熱し、又は乾燥する場合は、危険物の温度が局部的に上昇しない方法で行うこと

(解説及び運用)

第1項は、少量危険物の貯蔵及び取扱いのすべてに共通する技術

上の基準を規定したものである。

第1号

ためますや油分離装置にたまった危険物のみならず、ゴミや砂などの除去も必要である。

第2号

黄りん、エーテル、二硫化炭素、コロジオンその他揮発性の大きい液体等の危険物を貯蔵し、又は取り扱う場所においては、適切な遮光の措置を講じる必要がある、また危険な濃度の可燃性蒸気又は微粉が滞留するおそれがある場合は、強制換気を行うことはもちろん、それ以外の場合でも適当な換気を行う必要がある。

第3号

次項第3号で規定する温度測定装置や次項第5号で規定する圧力計も適正に監視が行わなければ安全が確保できないため、危険物の貯蔵及び取扱いの実態に応じた方法で監視し、危険物の性質に応じた適正な温度、湿度及

び圧力等を保って貯蔵し、又は取り扱うべきことを規定している。

第4号

ア 危険物の危険性が增大するような危険物の変質、異物の混入自体を防止するための適当な措置を講じること、さらにはやむを得ず変質したり、異物が混入した場合には、危険性が増大しないよう必要な措置を講ずべきことを規定している。自然発火性のある危険物又は混合接触により発火したり爆発したりする危険物については、あらかじめその危険性を十分把握し、適正な管理に努めなければならない。

イ 「異物」とは、石、ガラス、薬

品及び他の危険物はもちろん、当該危険物の貯蔵又は取扱いに伴って必然的に生じるものを除いたすべての物質である。

第5号

危険物を取り扱う設備、機械器具、容器等を修理する場合に

は、たとえ微量であっても危険物が残留していると災害が発生するおそれがあるため、これらの修理にあたっては、危険物を完全に除去した後に行うとともに、修理を行う場所は安全な場所に限ることを規定している。

第6号

火気の使用制限については、第31条第2号で規定しているが、可燃性蒸気等の滞留する場所は極めて火災危険が高いため、このような場所では一般の火気以外に火源となるおそれのある火花の発生も抑制しなければならないので本号の規定が設けられている。

第7号

自然発火性物質のように空気に接触すると著しく危険となる物質は、通常保護液中に埋没させて貯蔵するが、当該危険物が露出すると安全確保という本来の目的が失われてしまうため危険物を保護液中に保存する場合における危険物の露出禁止を規

定している。

保護液の例としては、金属ナトリウムの場合のパラフィン、灯油又は軽油、黄りんの場合の水がある。

第8号

接触又は混合により発火する危険性のある危険物と危険物又は危険物と非危険物とを同一場所で貯蔵した場合は、地震動等による接触、混合又は転落による流出等によって災害が発生することが予測されるので、これらの危険物又は物品は、原則として近接して置かないようにする必要がある。

第9号

危険物を加熱又は乾燥するときの局部的温度上昇を防止する規定である。

塗料製造工程において、合成樹脂、顔料等を前練り作業中、局部的温度上昇により火災が発生した事例があり、この種の事故の発生を防止することを目的としている。

(文責 柿島)

平成28年度 消防職員体力錬成研修会

大阪府下消防長会

はじめに

平成28年度一般財団法人全国消防協会事業計画に基づく体力錬成の奨励として、消防職員の高齢化対策や過酷かつ困難な消防活動に耐え得る体力づくり並びに筋力維持について、プロのトレーニングコーチから日常における効率的なトレーニング方法等について研修を受け、また同時に職員相互の交流・親睦を深め、消防体制の連携強化を図ることを目的とし、大阪府内・兵庫県内の消防職員を対象に研修会を実施した。



開催概要

開催日時

平成28年11月17日(木)
10時30分～17時30分

開催場所

J I GREEN堺FIFA公認サッカーフィールド及びクラブハウス会議室
堺市堺区築港八幡町
145番地

講師

元日本代表・元川崎フロンターレ監督 堀井 美晴 氏
元日本代表 勝矢 寿延 氏
元鹿島アントラーズ 眞中 靖夫 氏
ラグビートップリーグ・

研修内容

- ・実技トレーニング
- ・栄養管理等について
- ・講師による体験談等について

参加者

大阪府内	20本部	53名
兵庫県内	17本部	36名
合計	37本部	89名

主催

一般財団法人全国消防協会
近畿地区支部

近鉄ライナーズ専属栄養士

成田 厚子 氏



研修会概要

実技トレーニング

元日本代表・
元川崎フロンターレ監督

堀井 美晴氏

元日本代表

勝矢 寿延氏

元鹿島アントラーズ

眞中 靖夫氏

J-GREEN堺FIFA公
認サッカーフィールドにおいて、



講師よりJリーグ等で実践されているトレーニング法を用いて、普段の体力錬成において身につけた筋肉をいかに上手に使い、運動した動きを実現することを主目的に、実施した。

ストレッチを行った後、敏捷性、体幹のトレーニング、状況に応じたトレーニング内容について細かく解説を受けながら実施した。また、運動時の姿勢を意識するなど、適切なトレーニング方法の指導と各消防本部で行うことのできるトレーニング内容の紹介があった。

また、最後にコーチ陣を踏まえてミニサッカーゲームを行い、一流選手とのレベルの違いを実感することができた。

栄養管理等について

ラグビートップリーグ・
近鉄ライナーズ専属栄養士

成田 厚子氏

災害現場等で活動するための資本となる身体づくりの根本である食事、栄養の仕組みについて講義を実施。

- (1) スポーツと栄養との関係
- (2) 健康とスポーツにおける5

大栄養素の役割

- (3) 減量・体脂肪減少のために
- (4) 骨を強くする3つの条件
- (5) 健康とスポーツにおける水分の役割

講師による体験談等について

元日本代表・

元川崎フロンターレ監督

堀井 美晴氏

元日本代表

勝矢 寿延氏

元鹿島アントラーズ

眞中 靖夫氏



本日の実技トレーニングにおける効果の説明、及び受講者からの質問等に対する回答、ならびにこれまでの体験を踏まえた講演を受けた。

おわりに

我々消防職員は、消防業務を遂行していく中で、自己の体力管理は必要不可欠な事項である。

火災現場、救助現場や救急現場では日々の体力錬成が活動の成功につながる。

本研修会を通じて習得したトレーニング方法及び栄養管理に関する知識を、通常行っているトレーニングに取り込み、より質の高いものとするため、各所属において実践し、職員一人ひとりの心身の健康を確保しながら、常に万全な状態での任務遂行につながることを期待したい。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
田中 隆美

私は、平成22年に自衛消防隊長に任命され、7年を迎えます。現在の重点活動は、使用物質の発火点、引火点を把握し、その使用環境管理です。

今後も色々な機会を通じて、積極的に防火、防災について学び、事業所内に周知させ、実践に努めてまいります。



住之江区 株式会社 栗本鐵工所 住吉工場自衛消防隊

株式会社 栗本鐵工所 住吉工場は64年に及ぶ生産活動により培われた破碎機・鍛造プレス・バルブに代表される大型重量機械の高精度で高品質な加工・組立・試運転・検査に関する固有技術を保ち有されており、その主力工場として国内はもとより海外からのニーズにこたえておられます。

当該自衛消防隊は、住之江自衛消防協議会発足当時からの会員で、以来、施設見学等、各種行事に積極的に参加し、今年度の住之江自衛消防技術練成会においても優秀な成績を収められています。

これら、日頃からの防火防災の取組に対して、平成12年には住之江自衛



消防協議会から優秀自衛消防隊として表彰させて頂きました。

今後においても、当署と連携して、安心、安全な住之江区の発展にご協力を、お願い致します。

女性防火クラブ

だより

阿倍野区

阿倍野区女性防火クラブは10支部で構成されています。

連合町会単位で実施されているまちなか防災訓練・防災研修会・高齢者宅防火訪問・消防出初式・施設見学会・小中学生に対する防災訓練指導などが主な活動です。

その中でも管内の市立中学校2年生や小学生を対象に実施する防災訓練では地域防災リーダーと連携をとり、家庭内で身近にあるネクタイ・雑誌・買い物袋を利用したの応急手当や水消火器を使用したの初期消火訓練を生徒・児童に対してわかり易い言葉を使い優しい指導をして、将来の防災の担い

手の育成に努めています。

また今年の施設見学会では、4月に発生した熊本地震にちなんで神戸市にある人と防災未来センターに行き防災・減災に必要な知識を学びました。

これからも阿倍野区女性防火クラブは、市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現をめざして参りたいと思っています。





伊藤 敏弘

参集署 都島
平成 27 年 3 月退職

1 消防士になった切っ掛け

大学を卒業して一般会社に就職しましたが、「やりがい」を見つけれずいたところ、消防士であった義兄に「消防は、人からありがとうと言われ、喜んで貰える仕事である」と言うことを聞き、消防士になるうと思いました。

2 記憶に残っていること

約35年間の消防生活で、士長と司令合わせて11年間司令課で勤務しましたので、指令情報センターでの思い出が多い

です。

初めて炎上火災の通報を受信した時のこと、プリアムリ工号の船舶火災、生野周辺の連続放火事案、平成16年に大阪を直撃した台風23号が通過した日、多くの事案をセンター員一丸となって処理した事など思い出します。

その中でも一番印象に残っているのは、四ツ橋の庁舎から現在の庁舎に移行する最後の日のことです。他の部署はすべて新庁舎に移り、センター員だけ旧庁舎に残り、新庁舎側の指令センターと連携を取りながら平行して事案処理をしていくのですが、旧庁舎側での最後の事案を締めくくった時、通常であれば、「119番の着信音」、「センター員の応対の声」、「無線の声」など錯そつし、やかましいくらいの場合

所であるセンター内が「シーン」と静けさに包まれた時、感慨深いものがありました。また異動になった私の指令情報センター最後の勤務でもありました。

3 嬉しかったこと

消防学校の教官の時、4月に入校して不安で一杯であった学生が、6か月間の訓練や学科を通して、体格が一回り大きくなり、こころも成長し育っていくことにかかわることが出来たこと。また現在、それぞれがいるんな部署で活躍していることです。

4 先輩から教わったこと

多くの方から、色々な教えを受けましたが、「現場経験が少ない分、参考書等を読んで知識を習得する」、「自分にとって右腕になってくれる人を作る。また自分も誰かの右腕になれるように努力する」が心に残っています。

5 先輩への思うこと

現在は、消防の経験を活かして建物の施設管理の仕事をしています。予防に関係する事が多く、都島消防署の予防担当の方に毎日のように相談に乗ってもらっております。また、かつての同僚、先輩などにも同様に世話になっており、大変感謝しています。

現役の方々の活躍する姿を見るにつけ、制服姿が輝いてまばゆく感じています。「人からありがとう」と言われる仕事であることをこころに刻み、何事にも自信を持って前向きに取り組んで活躍してほしいと思います。

6 勤めあげられた理由

困難な場面も多く有りましたが、その都度、皆さんに協力、フォローして頂いた事が一番だと思えます。また私を陰で支えてくれた家族のお陰だと感謝しています。

柔軟性テスト (足首・腰)



1
脚を肩幅に開いて立ち、両腕を床と平行になるように前に伸ばす。



2
胸を軽く張り、両腕は床と平行を保った状態で、膝を完全に曲げて腰を下げる。ただし、かかとが床から離れない。



3
両手を背中に回し、両手を組む。

点数を付けよう!

- 0点** 完全にしゃがむことができない。バランスを崩して、後ろに転がってしまう。
- 1点** 完全にしゃがむことはできるが、かかとが床から離れてしまう。
- 2点** 手を後ろに回せるが、組むことができない。
- 3点** かかとを床につけたまま、腰の後ろで手を組むことができるが、背中が丸まり、顔を前に向けられない。
- 4点** かかとを床につけたまま、軽く胸を張った状態で、手を腰の後ろで組むことができる。(顔を前方に向ける。)
- 5点** 写真③の姿勢で、30秒静止することができる。

2点以下は、体力アップ体操に挑戦!



反動をつけず、徐々に体重をかけてアキレス腱を伸ばしましょう。

30秒×1セット



足は肩幅より広めに開いてしゃがみ、かかとが床から離れない。腰から背中にかけて、ゆっくり伸ばす。

15秒×2セット



背中を手を組みます。そのまま、胸を張って手を頭の方へ近づけます。

15回×1セット



背中を丸めながら天井へ引き上げます。この時に息を細く吐きながら、おへそに顔が近づいていくようにします。背中が丸められることで背骨にそった脊柱起立筋へのストレッチがかかります。**15秒×2セット**



体育座りの状態で膝の裏で手を組み、ももを抱え込みます。両手で両肘をつかみ、その状態から膝を伸ばしていきましょう。

15秒×2セット



大阪市消防局親睦会
バレーボールクラブ

親睦会だより
平成28年度
全国消防職員親善バレーボール大会
悲願の初優勝
大阪市消防局親睦会

平成28年度全国消防職員親善バレーボール大会が12月12日(月)13日(火)「エディオンアリーナ」大阪府立体育館において開催されました。

全国から17都市260名以上の消防職員が参加し、開催都市として大阪市消防局バレー部奥中部長の挨拶の後、二日間にかたりメインアリーナ4面に分かれて熱戦を繰り広げ、2日目の決勝トーナメントでは敗者戦を含め全20試合中10試合がフルセットの激戦、どのチームも力が拮抗している中、大阪消防は一回戦広島に2-1、準々決勝仙台に2-0、準決勝北九州に2-1で決勝進出、相手は優勝候補の東京で、大阪消防バレー部創部以来20年間勝ったことのない強敵です。

会場全員が見守る中、1セット目大阪が序盤から終始リード

平成28年度全国消防職員親善バレーボール大会
2016 FIRE CUP IN OSAKA 12月13日



21-16で先取、2セット目今度は東京が終始リードで18-20、万事窮すかと思われたところで、相手の強力なアタックをブロックで止め、サーブエースとレシーバー陣の粘りで20-20と追いつき最後は完璧なブロックが決まり22-20で逆転勝利、悲願の初優勝、全国優勝しました。

また、試合の合間に行った各都市連合でチームを組んで行った、女子+OB戦も真剣に和氣藹々と汗を流し交流を深めた大会でした。

- 参加都市(17都市)
札幌市 仙台市 東京都
横浜市 川崎市 相模原市
名古屋市 京都市 神戸市
福山市 呉市 広島市
福岡市 北九州市 熊本市
鹿児島市 大阪市
(男子21名女子7名)

大阪市防火管理協会からのお知らせ

(一社)大阪市防火管理協会販売図書のご案内



防火管理者のための自主検査
マニュアル(17訂版)
平成28年度版

【内容】

- 防火管理者が自主検査(点検)を行うための必携書
- 消防法令による自主検査制度の解説、自主検査のチェック項目表を掲載。階段・防火区画、避難の管理、火を利用する設備・器具、消防用設備などの具体的な検査のポイントを写真やイラストでわかりやすく解説しています。

A4版 編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

お問い合わせ・お申し込み先

(一社)大阪市防火管理協会
〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7-11
TEL:06-6741-2130 FAX:06-6712-2130

SCHEDULE

防火・防災管理講習日程表

甲種防火管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：両日とも10:00～16:00

回数	開催日
第42回	平成29年3月 6日(月)、7日(火)
第43回	平成29年3月11日(土)、12日(日)
第44回	平成29年3月16日(木)、17日(金)
第45回	平成29年3月30日(木)、31日(金)

甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市消防局生野分室、大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：午前は10:00～12:00 午後は14:00～16:00

回数	開催日	場所
第15回	平成29年3月 1日(水)午後	大阪市消防局生野分室
第16回	平成29年3月25日(土)午前	大阪市立阿倍野防災センター

防災管理新規講習

講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：10:00～15:30

回数	開催日
第19回	平成29年3月 2日(木)
第20回	平成29年3月27日(月)

防火・防災管理新規講習

講習会場：大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：両日とも10:00～17:00

回数	開催日
第30回	平成29年3月13日(月)、14日(火)
第31回	平成29年3月23日(木)、24日(金)
第32回	平成29年3月28日(火)、29日(水)

防火・防災管理再講習

講習会場：大阪市消防局、大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：14:00～17:00

回数	開催日	場所
第9回	平成29年3月 5日(日)	大阪市立阿倍野防災センター
第10回	平成29年3月15日(水)	大阪市消防局



—(大阪めぐり 表 紙)—

○少彦名神社 (神農さん)

少彦名神社(すくなひこなじんじゃ)は、大阪市中央区道修町二丁目にある神社。旧社格は無格社。別称として、道修町の神農(しんのう)さん。1780年(安永9年)10月、薬種中買仲間の団体組織である伊勢講が、薬の安全と薬業の繁栄を願うために、京都の五條天神社より少彦名命の分霊を道修町にあった仲間会所(現在の少彦名神社所在地)に勧請し、すでに仲間会所に祀ってあった神農氏とともに祀ったことを起源としている。祭神は薬・医療・温泉・国土開発・醸造・交易の神であるが、少彦名神社では、薬の神として健康増進、交易の神として商売繁盛の神徳があるとされている。医薬業に携わる会社・関係者などの信仰を集めている。また、医薬業関連の資格試験合格を願う者やペットの病気平癒・健康祈願に参拝する人も多いという。



11月22～23日には神農祭が行われる。大阪の祭りは、今宮戎神社の「十日戎」で始まり、少彦名神社の「神農祭」で終わるため、神農祭は「止めまつり」と称されている。神農祭で授与される、五葉笹に吊るされた「張子の虎」(神虎)が有名である。疫病除薬として「虎頭殺鬼雄黄圓」(ことうさっきょうおうえん)という丸薬を調合し、少彦名神社の神前で祈祷して、罹患者(りかんしゃ)などに施した。そのときに合わせて、「張子の虎」を配布した。その丸薬の効能が高かったため、「張子の虎」の御守がよく知られるようになった。

編集室

約50年ぶりに中学校の同窓会に行き、数人とは卒業後も会っていたが、ほとんどが久しぶりであり、顔を見ても誰か分からず、「誰でしたかな」という会話から始まり、おしゃべりな人はかわらず、おとなしかった人もよくしゃべり、話している内に顔と名前が一致し、昔の面影を思い出した。また、会社勤めや自営業の人もいる。年を取った会話は、孫と年金の話になり、学生時代の話しはどこへやら。世間では、高齢のレッテルを貼られてはいるが、まだまだみんな元気だ。当時の時代に戻った瞬間もあり、楽しい1日であった。(利)



今年(高)は元旦から出初式まで穏やかな晴れの日が続き、初詣の人波もあふれるようだった。初めて八尾の7日、8日戎にお参りした。8日は生憎の雨で、午前中という事もあって人波も疎らで傘を気にする事もなく歩けたが、返された吉兆が燃やされるほどの火が冷えた体には有難かった。今宮の本戎には、仕事帰りに立ち寄りてみたが相変わらずの人混みに、勝手に境内に入ってしまった。一方通行の境内を抜けて、昼間より明るい参道には、空きっ腹にこたえる美味しそうな匂いが漂っていてサザエやイカが目飛び込んで来た。誘惑に勝って、きらびやかな吉兆売りの露店を覗いて回ると、威勢のいい売り子の声、サラリーマンのグループや商店主が売り子と値段交渉をしている声を横目に、最寄りの駅に着くと普段は閑散としている駅が、今日は乗降客も多く駅員さんも活き活きと誘導していた。



大阪消防
 平成29年2月号 第68巻第2号 通巻第803号
 発行 大阪消防清風会
 企画・監修 大阪市消防局
 編集 大阪市消防局企画部企画課内
 大阪消防編集部
 〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
 TEL 06-4393-6036
 FAX 06-6582-2864
 Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp
 年間購読料 年間4,560円
 (消費税・送本手数料含む)
 制作・販売 株式会社サイネックス

○お詫びと訂正
 新年号5ページ「期待の星」のコーナーで淀川・向井さんのコメントが間違っておりまして。誠に申し訳ありません。左記のとおり訂正させて頂きます。
 目指せ!! 一人!
 目指せ!! 一人!
 目指せ!! 一人前!
 (正) (誤)

年末年始は、いつになく気候も穏やかに新年を迎えることができた。
 正月の三が日をさけて初詣に出かけたところ、真冬の寒さも感じることもなく多くの参拝者で賑わっていた。
 そんな中、平成29年の消防出初式を取材したところ、当日も晴天に恵まれ盛大に挙行され、安心・安全を願う新春恒例の一斉放水が始まると色鮮やかなレインボー放水に歓喜の声も一段と高く感じた。(陸)



ご愛読者の皆様へ

大阪消防編集部からお知らせ



毎月、ご愛読頂きましてありがとうございます。

さて本誌は、昨年の5月から平成29年4月までの年間購読料を頂いております。平成29年5月以降も引き続きご購読頂きますようよろしくお願いいたします。

なお、購読中止のご連絡があるまで、自動的に購読を継続させていただきます。購読中止を希望される方は、**3月31日まで**に下記編集部までお手数ですがご連絡をお願い致します。

年間購読料を納めて頂きますので、途中月の購読中止時につきましても、購読料の返戻金はございません。

大阪市消防局 企画部企画課 大阪消防編集部

TEL: 06-4393-6036 Eメール: taka-yamano@city.osaka.lg.jp

〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54

AEDで、ひとりでも多くの命を救えたら——。

AEDはフクダ電子



より身近に・より簡単に使用できることをめざしたAED!

AED(自動体外式除細動器)
ハートスタートHS1+
HEARTSTART HS1+

医療機器承認番号:21700BZY00426000
製造販売業者:株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

電気ショックが
必要かどうかを
AEDが判断

音声による
操作ガイダンス

小型・軽量
(1.5~2kg)で
持ち運びが容易

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケーターや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。

AED設置者及び管理者は品質保証及び安全管理の為、以下の内容の確認をお願いいたします。

- 1.AED設置の際はAED管理者を設置し、製造販売業者の推奨する保守点検を行い、いつでも使用できる状態に管理する事。特に電極パッド(パナソニック)の使用期限の確認及び、期限内の交換は確実に実施する事。
- 2.AED設置者及び管理者は、AED管理表示パネル上に明記された消耗品等の使用期限を確認する事。
- 3.AED設置者及び管理者は、AEDに不測の事態が発生した時及び、誤発時(高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る)、廃棄時には、製造販売業者又は販売業者等の連絡先に連絡する事。製造販売業者又は販売業者からの情報提供方法等(交換時期のお知らせ等)について確認する事。
- 4.電極/パッドは使い捨てなので、再使用する事は禁止である。
- 5.購入の際には必ず添付文書をご確認ください。

小児等への適用

- 未就学児の小児に対して成人用の除細動エネルギーを印加することについては、小児用にエネルギーを減衰できる機構を持った自動体外式除細動器が近くないなど、やむをえない場合に限り使用すること。
- 小児に使用する場合には2枚の除細動パッドが触れ合うことのないよう注意すること。
- JRC(日本版)ガイドライン2010では、未就学児(および6歳)以下の小児への使用を推奨しています。



〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月～金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00～18:00

●医療機器専門メーカー **フクダ電子株式会社**

消防職員用礼服のご案内

◎婚礼用

消防職員の皆様へ

当協会では消防職員用礼服を貸し出し、
ご好評を頂いております。

大阪消防振興協会

検索

<http://www.ossk.or.jp/>

詳しくは当協会ホームページを
ご覧ください。



◎退職時等 記念撮影



(一財)大阪消防振興協会

防災物販係
TEL06-6459-1456



ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪キタなら

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



★エレベーター新設! ★リニューアル改装!

ご晩酌・
ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪市北区曾根崎 2-1-9
梅新 お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

大阪ミナミなら

都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪市中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

二次会
なら...

グランドラウンジ
ミス大阪 大阪市中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-1210
ヤングラウンジ
ザ・フレッシュ 大阪市中央区千日前 2-8-5
電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ
ミスパール 大阪市中央区千日前 2-8-5
電話 (06) 6643-1220
ミスパール
昼ラウンジ 大阪市中央区千日前 2-8-5
電話 (06) 6643-1220



鳥よしグループ

本社 大阪興業株式会社
鳥よし共栄株式会社

〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-2233・6644-1044